

令和6年度
中学生・高校生意識調査結果報告書

2024

令和7年3月

澁川市

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査方法	1
3 調査票の配布・回収状況	1
4 グラフ中の表記	1
II 調査結果	3
1 回答者の属性について	3
(1) 性別	3
(2) 中学生・高校生別	3
(3) 居住地区	4
(4) 居住年数（市内在住者のみ）	5
(5) 将来の渋川市への居住意向	6
2 市の現状の評価について	8
問1 市の取組の満足度・重要度	8
(1) 満足度	8
(2) 重要度	14
(3) 15項目の満足度と重要度の関係・経年比較	20
3 将来のなりたい職業について	22
問2 将来なりたい職業の分野	22
4 社会的な男女の意識について	24
問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方	24
問4 女性が仕事をもつこと	25
5 選挙について	26
問5 選挙への関わり	26
問6 投票意向	27
問7 投票に行かない理由	28
6 インターネットやSNSについて	29
問8 インターネットを有効かつ安全に利用するための対策	29
問9 SNSトラブル相談の方法	30
7 食品ロスについて	31
問10 食品ロス問題の認知度	31

8 日常の移動手段について	32
問11 外出時の移動手段	32
9 まちの景観整備について	33
問12 良好な景観づくりのために必要な取組	33
10 普段の読書週間について	34
問13 紙の本、電子書籍を読む量	34
11 市政について	35
問14 市長になったら力を入れたいこと	35
Ⅲ 中高生別・男女別集計項目	39
1 調査概要	39
2 回答数	39
3 クロス集計抽出項目	39
(1) 市内在住者における将来の渋川市への居住意向	39
(2) 市外在住者における将来の渋川市への移住意向	40
(3) 将来のなりたい職業について	41
(4) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について	43
(5) 女性が仕事をもつことについて	44
資料	45
中学生・高校生別満足度・重要度（加重平均値）	45
調査票	47

I

調査概要

1 調査目的

この調査は、中学生及び高校生の本市の行政に対する評価や意向等を統計的に把握し、まちづくりの指標となる総合計画の進行管理や市政運営の基礎資料とするために実施しました。

2 調査方法

- ① 調査地域 渋川市内
- ② 調査対象 市内の中学校に通う第2学年の生徒
市内の高等学校に通う第2学年の生徒
渋川特別支援学校中学部2年及び高等部2年の生徒
- ③ 調査方法 インターネットによるアンケート調査
(渋川特別支援学校は一部紙アンケートにより実施)
- ④ 調査時期 令和7(2025)年2月20日～3月21日

3 回答状況

- ① 対象数 1,250人(中学生553人・高校生697人)
- ② 回答数 798人(中学生482人・高校生316人)
- ③ 回答率 63.8%(中学生87.2%・高校生45.3%)

4 グラフ中の表記

- ① 各設問に対する回答者数を「n」で表記しています
- ② 数値は小数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ③ 市の取組の満足度・重要度(問1)の評価については、以下の算出方法で加重平均値を求めて評価点としています。評価点は2点から-2点の間に分布し、中間点の0点を境として、2点に近いほど評価が高く、-2点に近いほど評価が低いことを示します。

	満足度選択肢	重要度選択肢	加重値
ア	満足	重要	2
イ	やや満足	やや重要	1
ウ	どちらでもない	どちらでもない	0
エ	やや不満	それほど重要でない	-1
オ	不満	重要でない	-2

$$\text{加重平均値} = \frac{\text{ア} \times 2 + \text{イ} \times 1 + \text{ウ} \times 0 + \text{エ} \times (-1) + \text{オ} \times (-2)}{\text{無回答を除く回答者数}}$$

- ④ 本文中の「R 5年度」「R 4年度」「R 2年度」「R元年度」はそれぞれ以下を示し、グラフ中では「令和5年度」「令和4年度」「令和2年度」「令和元年度」と示します。

R 5年度	中学生・高校生意識調査 令和6（2024）年1月実施 対象数1,269人・回答数847人（回答率66.7%） 調査対象は本調査と同様（市内中学校・高等学校に通う第2学年の生徒）
R 4年度	中学生・高校生意識調査 令和4（2022）年5～6月実施 対象数1,323人・回答数1,231人（回答率93.0%） 調査対象は本調査と同様（市内中学校・高等学校に通う第2学年の生徒）
R 2年度	中学生・高校生意識調査 令和2（2020）年10～11月実施 対象数1,398人・回答数1,306人（回答率93.4%） 調査対象は本調査と同様（市内中学校・高等学校に通う第2学年の生徒）
R元年度	中学生・高校生意識調査 令和元（2019）年5～6月実施 対象数1,361人・回答数1,282人（回答率94.2%） 調査対象は本調査と同様（市内中学校・高等学校に通う第2学年の生徒）

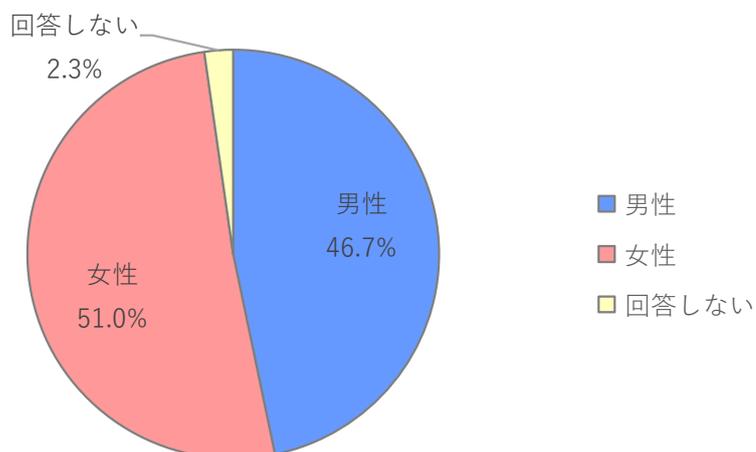
Ⅱ

調査結果

1 回答者の属性について

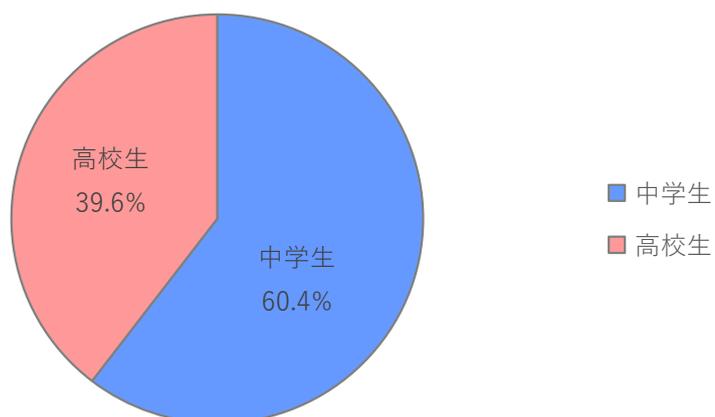
(1) 性別

女性：51.0%、男性：46.7%であり、若干女性が多くなっています。



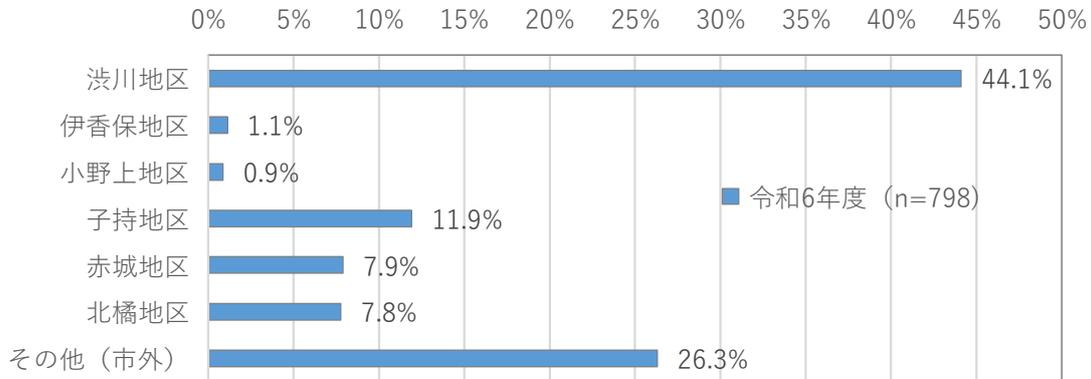
(2) 中学生・高校生別

中学生：60.4%、高校生：39.6%であり、中学生の方が多くなっています。



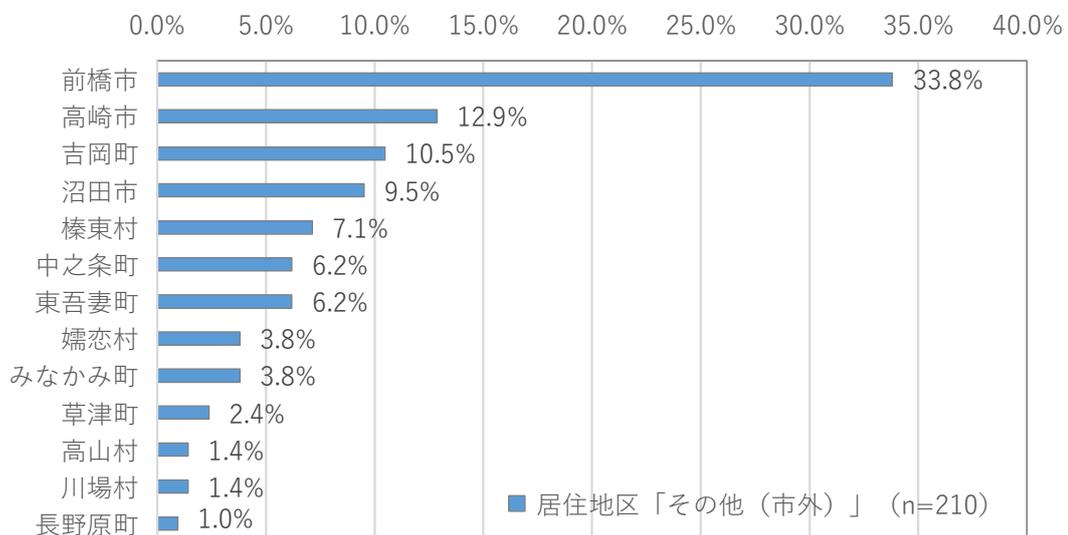
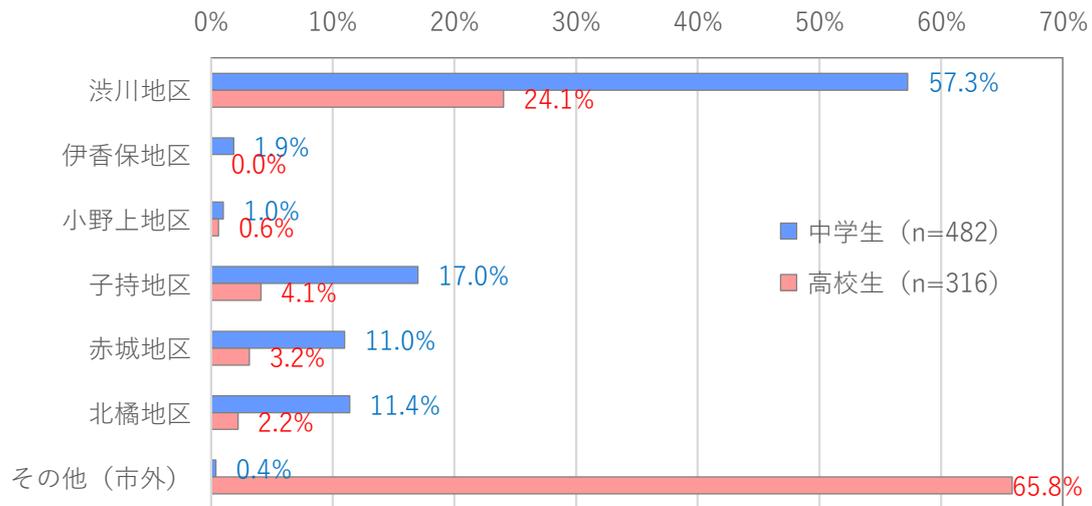
(3) 居住地区

渋川市内では、渋川地区が約4割（44.1%）と最も高く、次いでその他（市外）が約3割（26.3%）、子持地区が約1割（11.9%）、赤城地区（7.9%）と北橋地区（7.8%）、伊香保地区（1.1%）と小野上地区（0.9%）がそれぞれほぼ同数となっています。



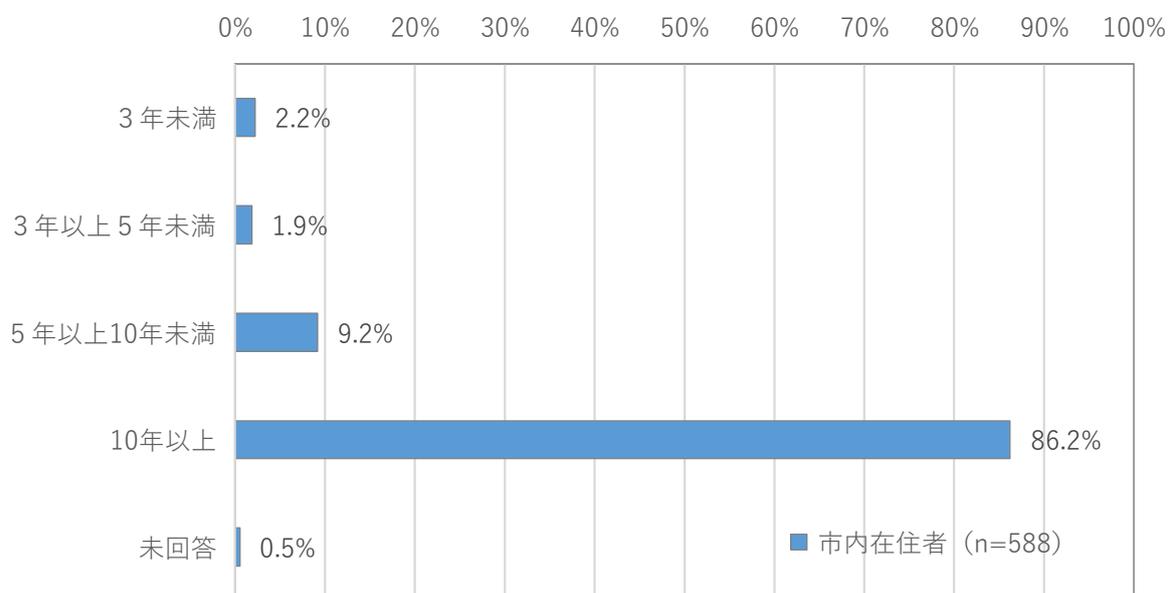
中学生は渋川地区（57.3%）、高校生はその他（市外）（65.8%）がそれぞれ最も多くなっています。

高校生で特に高いその他（市外）の内訳は、前橋市（33.8%）が最も高く、次いで高崎市（12.9%）、吉岡町（10.5%）、沼田市（9.5%）と続いています。



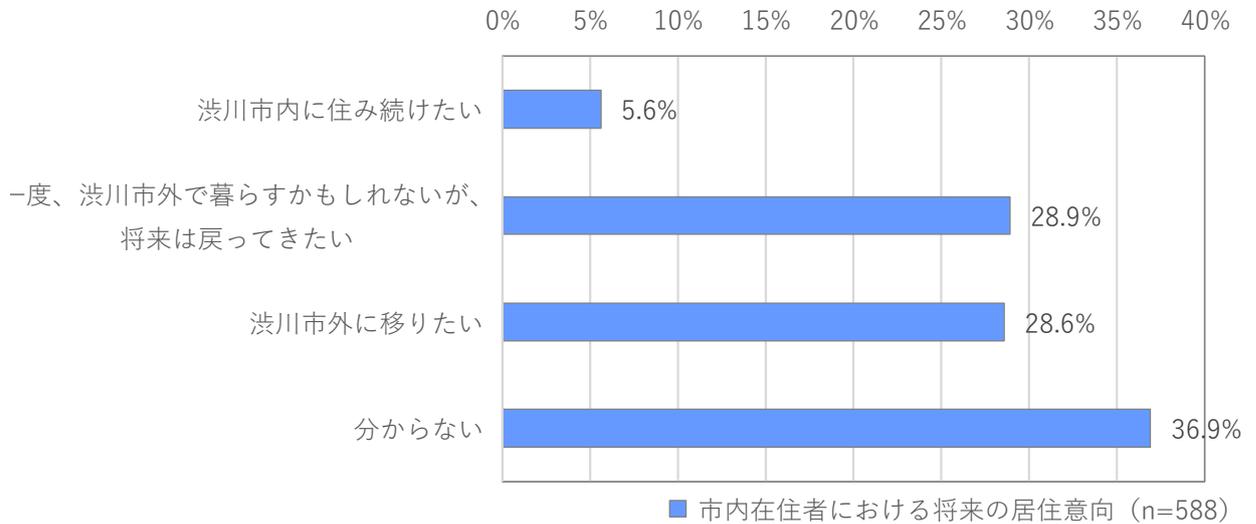
(4) 居住年数（市内在住者のみ）

市内在住者の居住年数は、10年以上（86.2%）が特に高くなっています。

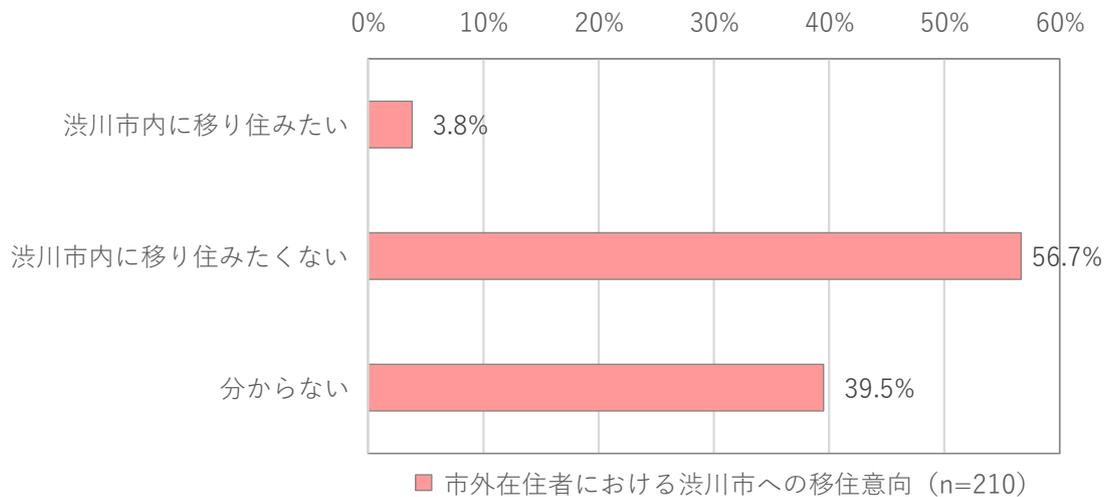


(5) 将来の渋川市への居留意向

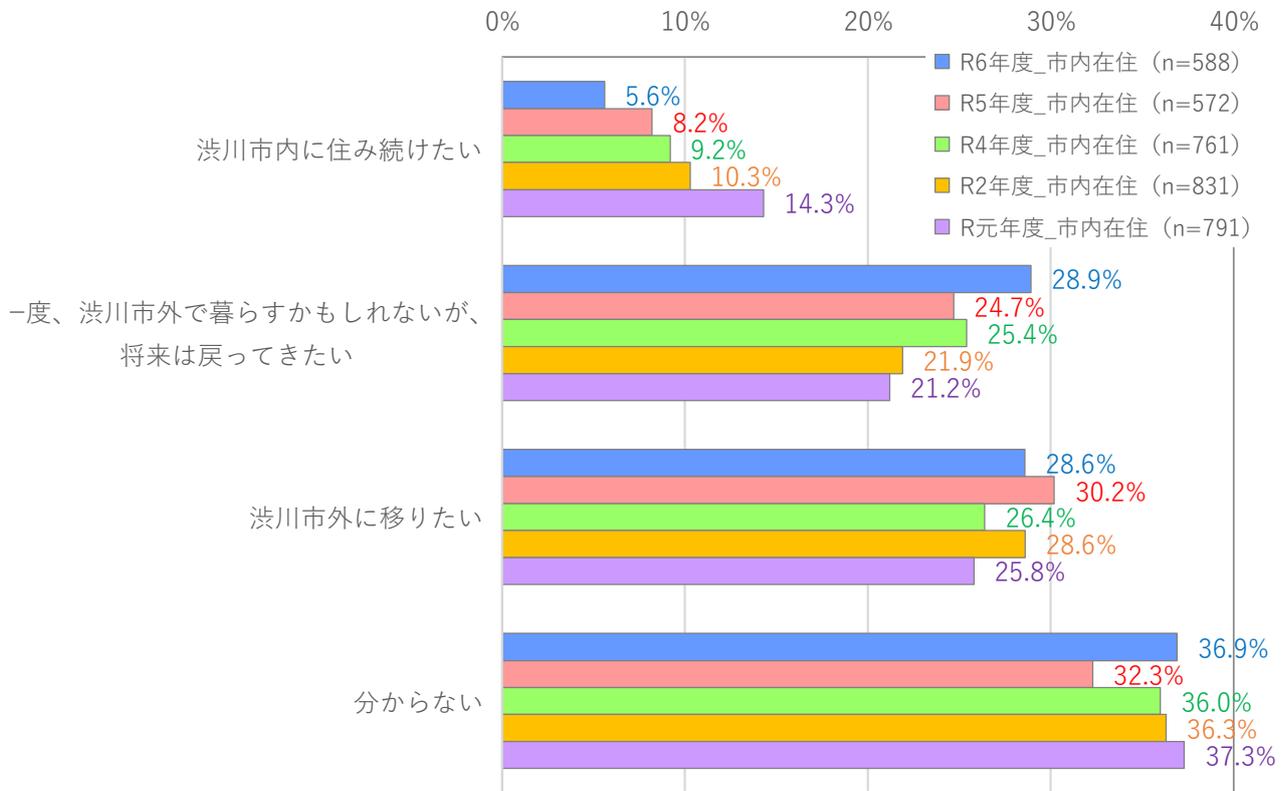
市内在住者における将来の居留意向は、「分からない（36.9%）」が最も多く、「一度、市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい（28.9%）」と「渋川市外に移りたい（28.6%）」がほぼ同数となっています。



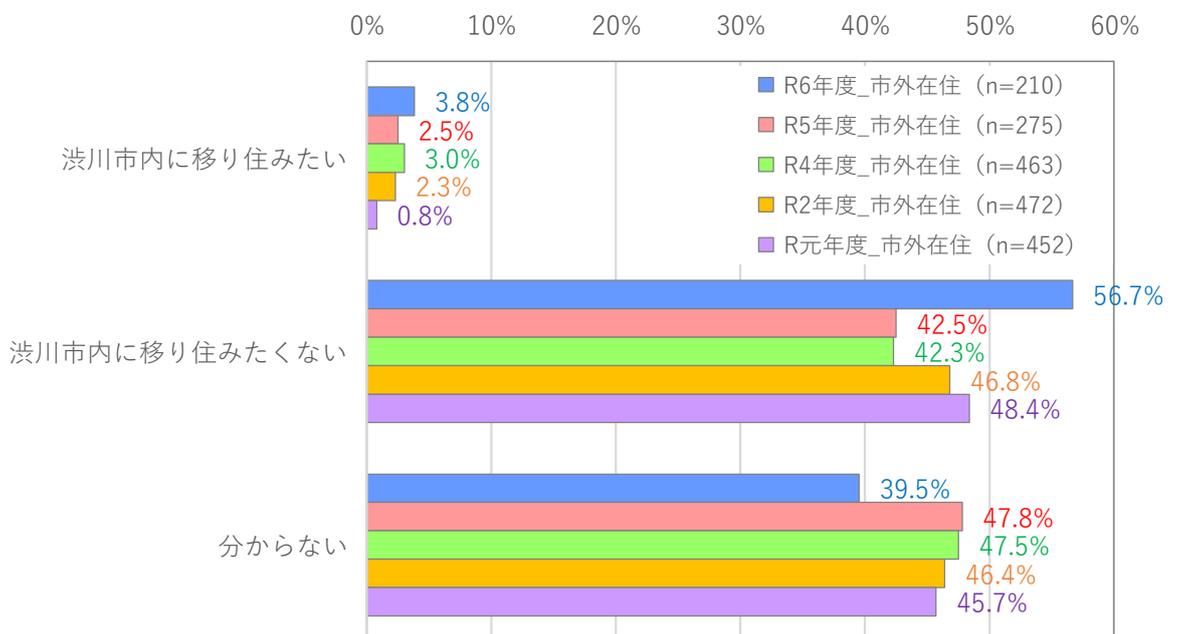
市外在住者については、「渋川市内に移り住みたくない（56.7%）」が最も多くなっていますが、「分からない（39.5%）」も約4割となっています。



市内在住者における経年比較では、「渋川市内に住み続けたい」が年々減っている一方で、「一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい」は増加傾向にあります。なお、「渋川市外に移りたい」、「分からない」は、年によって若干の変動があるものの、大きな変化は見られません。



市外在住者における経年比較では、微増ではありますが、「渋川市内に移り住みたい」がこれまでの調査の中で最も多い結果となりました。一方で、「渋川市内に移り住みたくない」が例年より多く、「分からない」が少なくなっています。



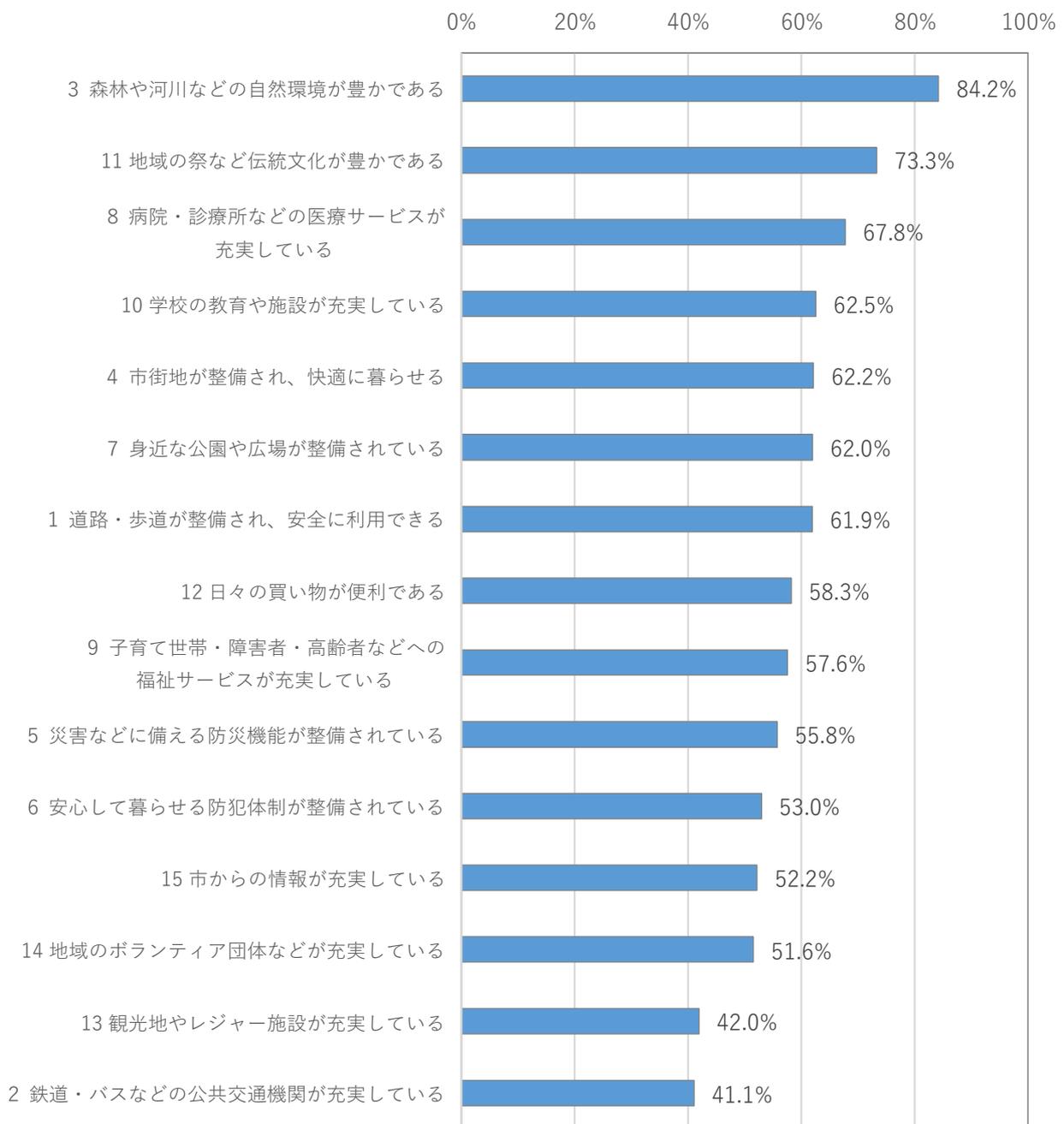
2 市の現状の評価について

問1 市の取組の満足度・重要度

あなたは、身近な生活環境について、どのように感じていますか。（各項目の「満足度」「重要度」を5段階評価で1つずつ選択）

(1) 満足度

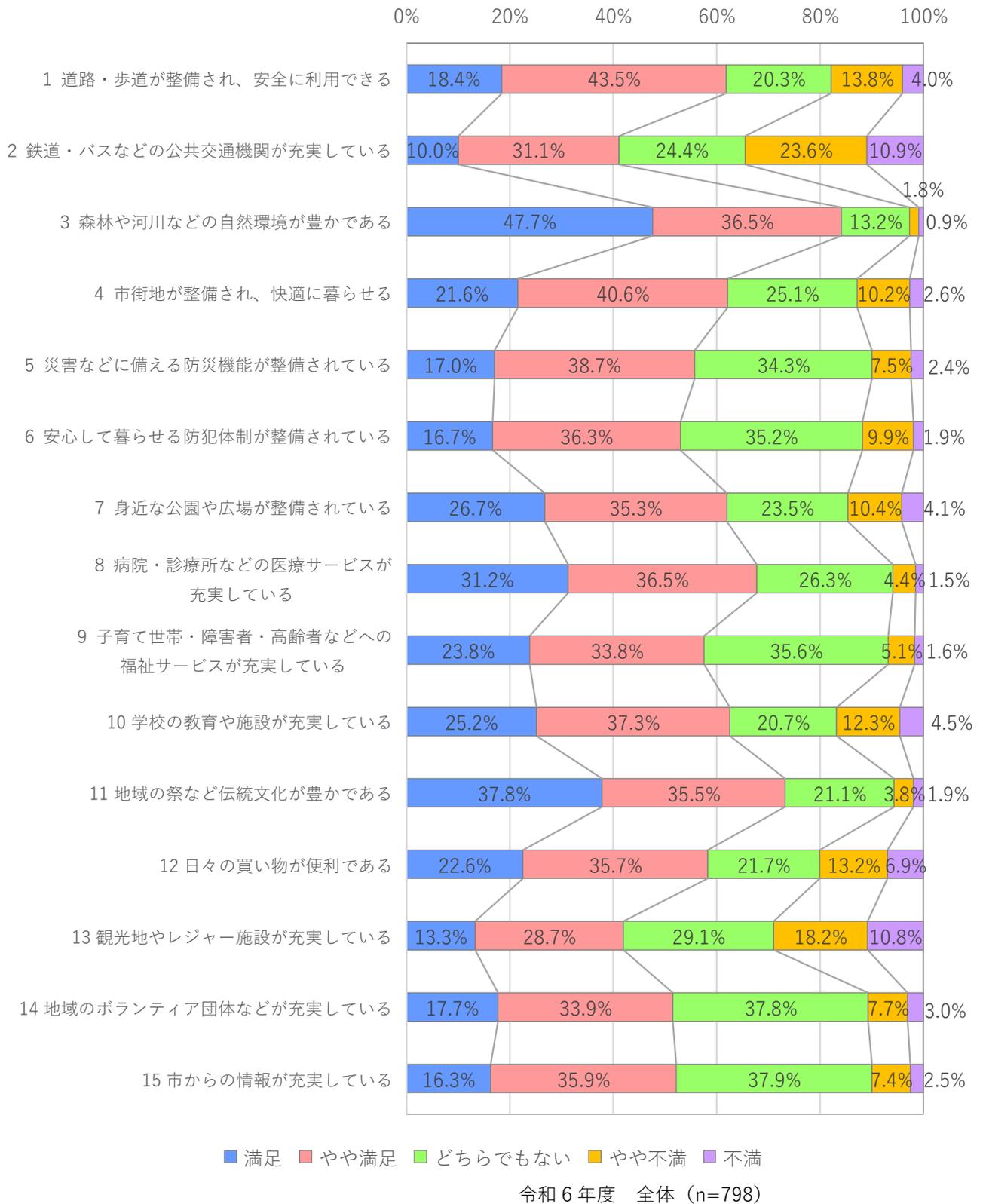
「満足」と「やや満足」の合計値『満足』を見ると、「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」（84.2%）が8割以上となり、次いで「11 地域の祭など伝統文化が豊かである」（73.3%）、「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」（67.8%）が7割前後となっています。



■ 令和6年度 合計値『満足』（「満足」+「やや満足」）（n=798）

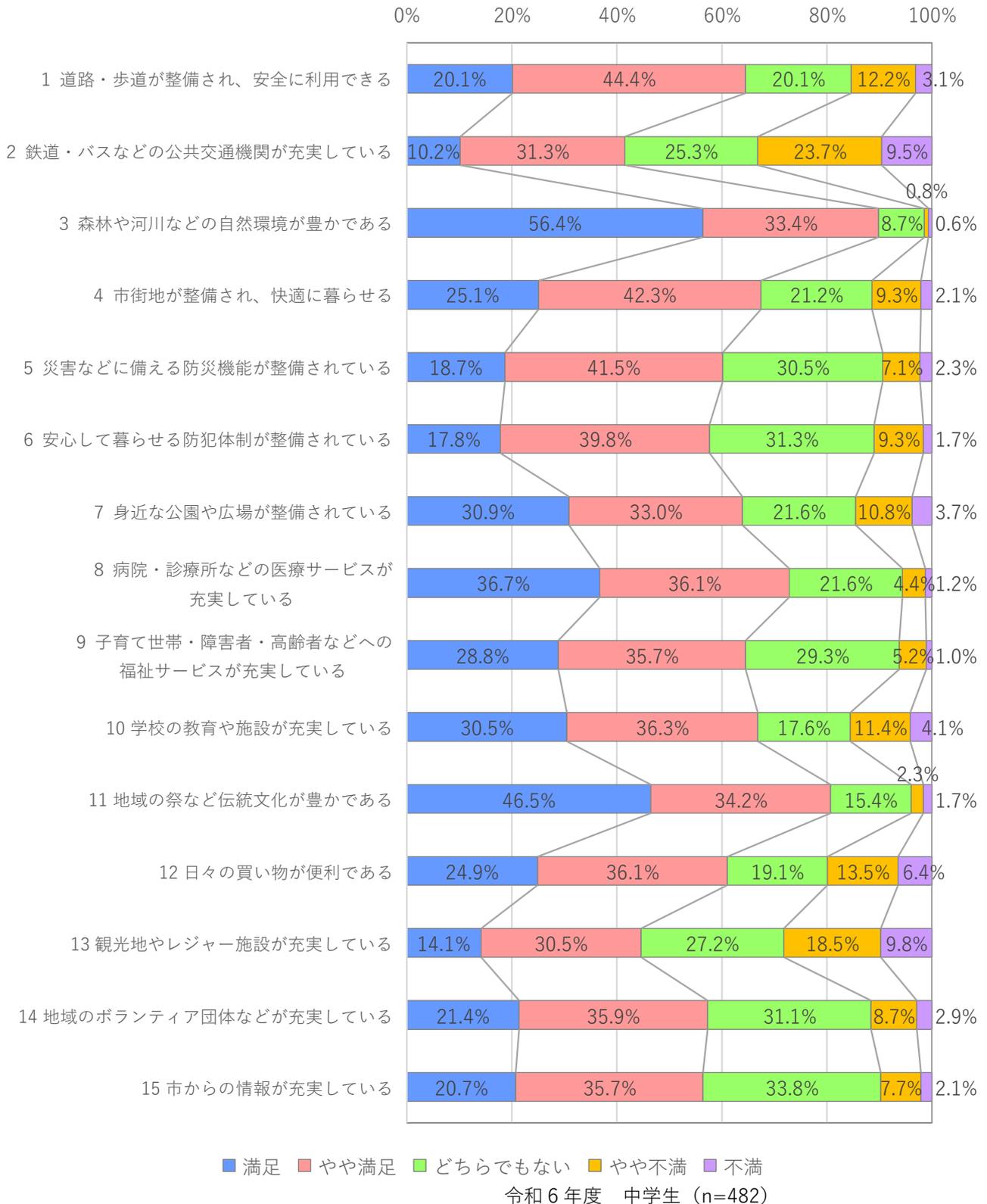
【全体満足度】

中学生と高校生の全体の回答における、各項目の満足度の分布は、以下のとおりです。



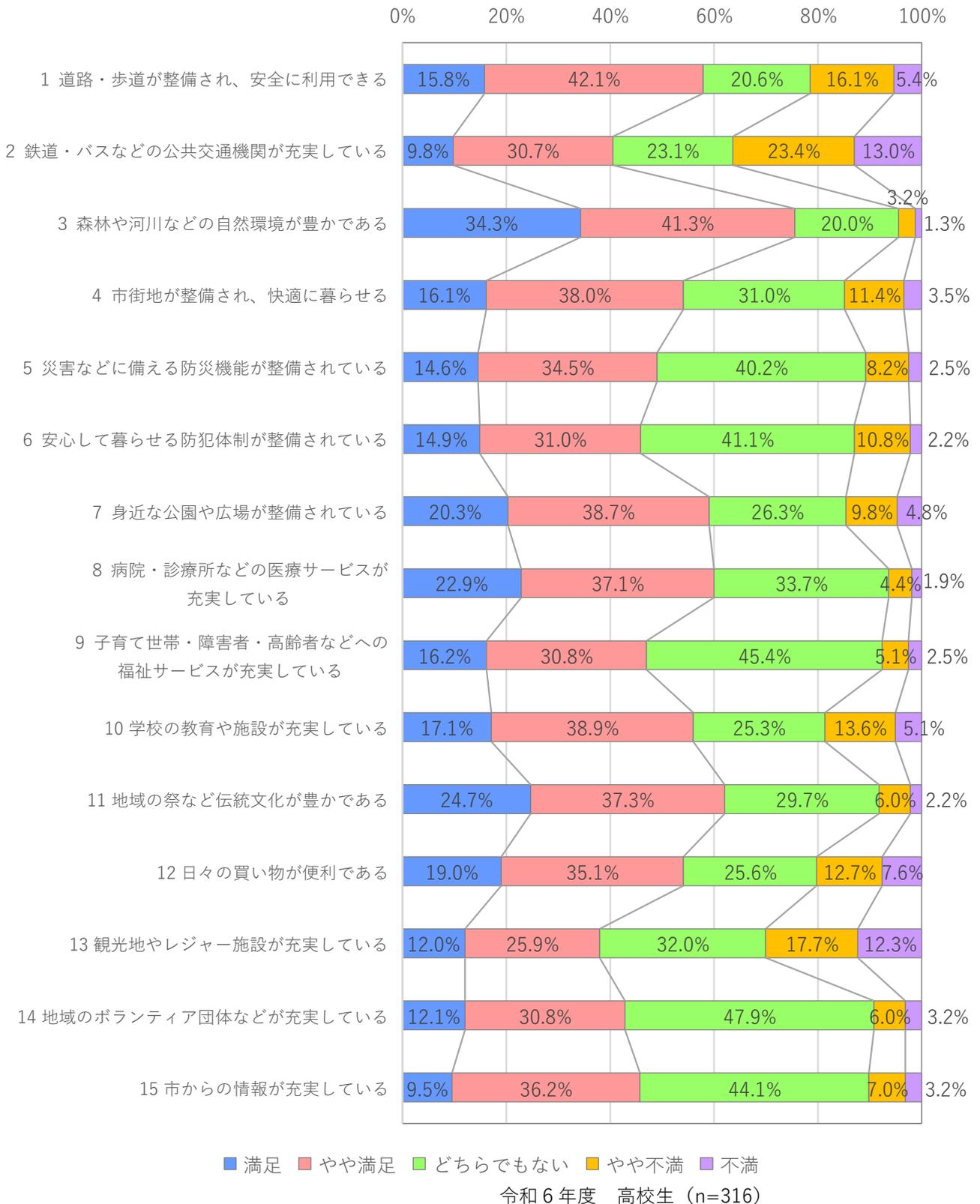
【中学生・満足度】

「満足」と「やや満足」の合計値『満足』を見ると、全体と同様に「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」（89.8%）が最も多く、約9割と非常に高い満足度となっています。次いで、「11 地域の祭など伝統文化が豊かである」（80.7%）が8割以上となっています。



【高校生・満足度】

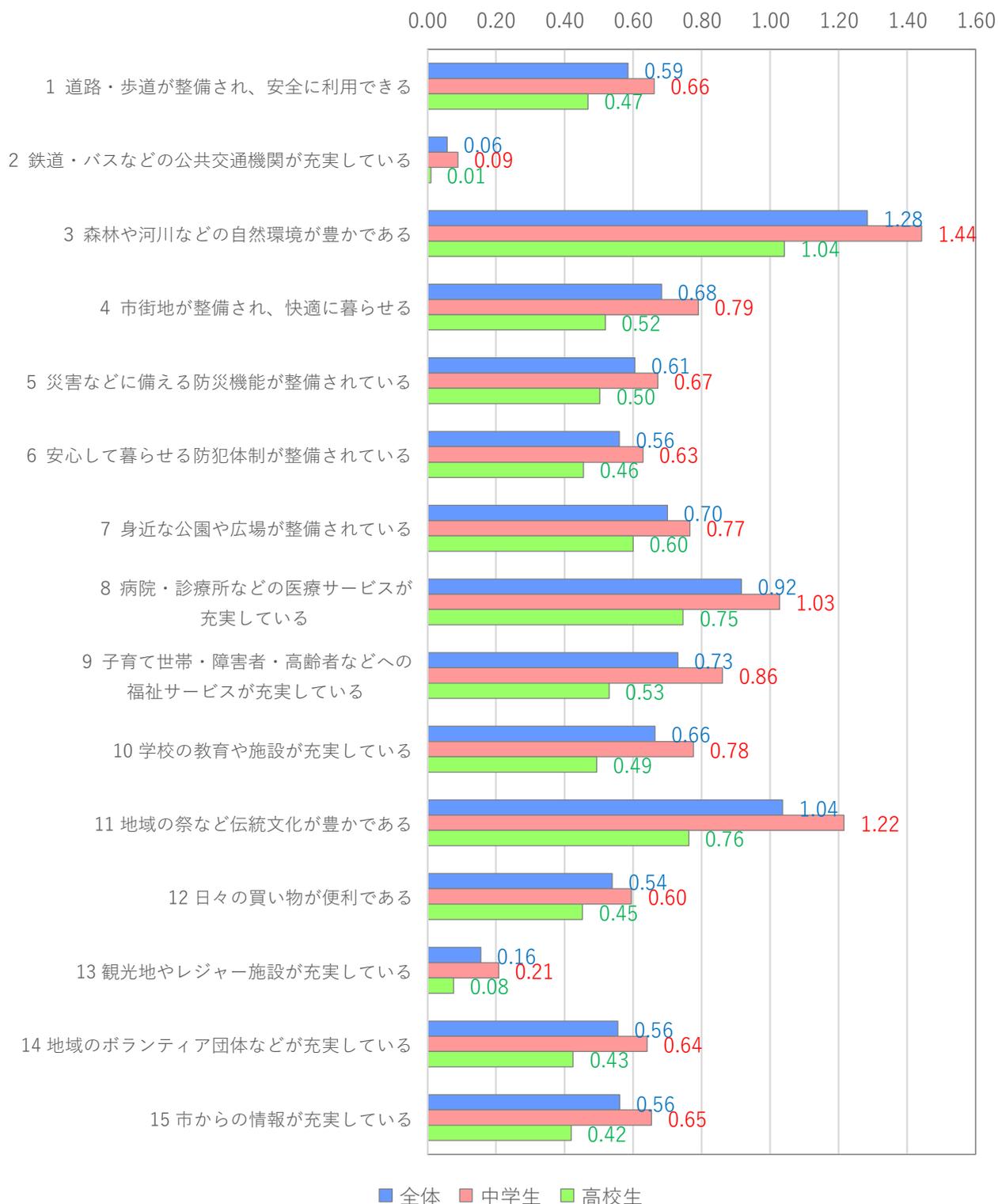
「満足」と「やや満足」の合計値『満足』を見ると、全体と同様に「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」（75.6%）が7割以上と最も多く、次いで「11 地域の祭など伝統文化が豊かである」（62.0%）、「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」（60.0%）が6割以上となっています。



【加重平均値・満足度】

加重平均値を見ると、全体、中学生、高校生のいずれも全ての項目がプラス値となっており、「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」（全体1.28、中学生1.44、高校生1.04）が最も高くなっています。

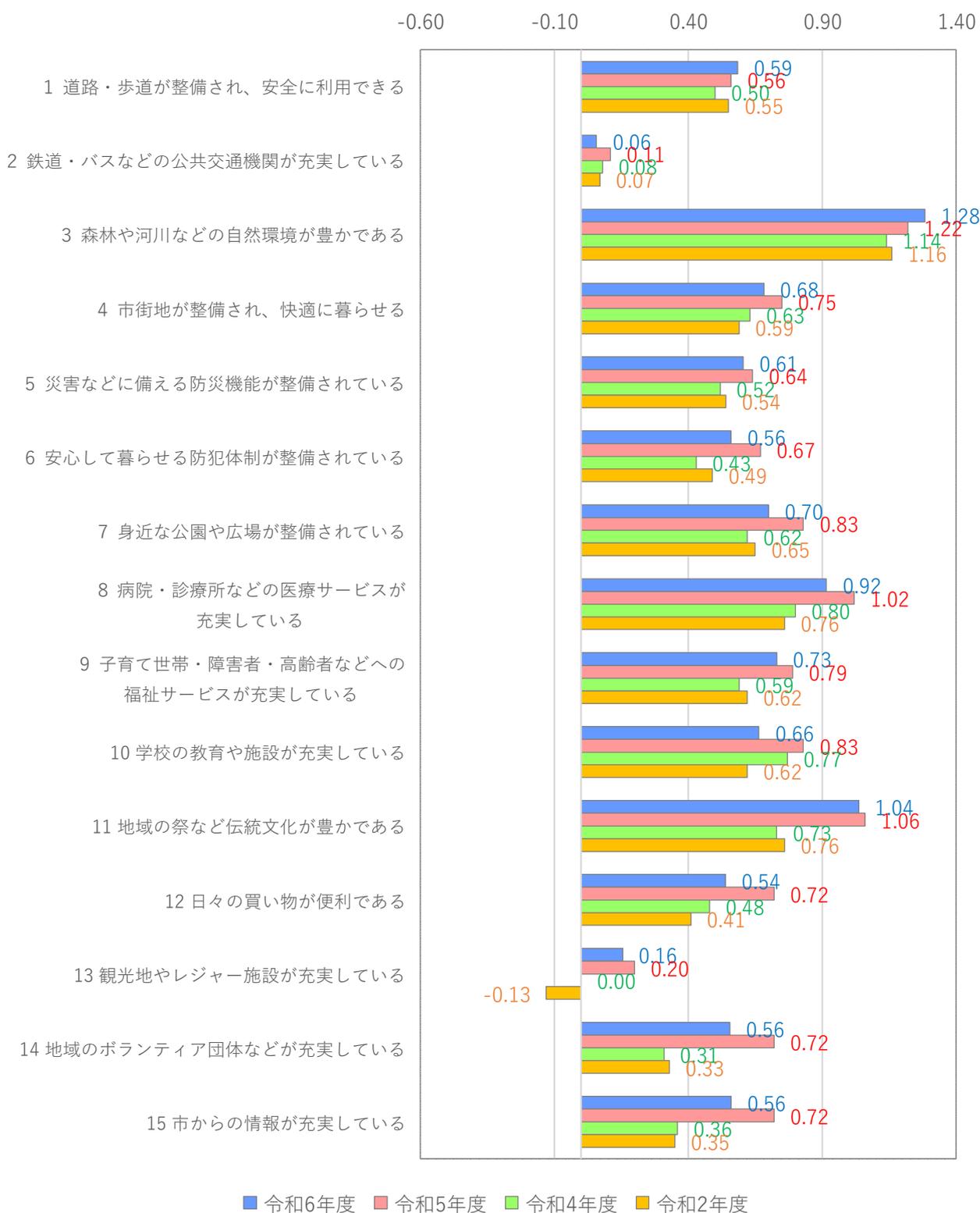
一方、いずれも「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」（全体0.06、中学生0.09、高校生0.01）が最も低く、「13 観光地やレジャー施設が充実している」（全体0.16、中学生0.21、高校生0.08）の低さも目立つ結果となっています。



【加重平均値・全体・満足度の経年変化】

加重平均値を見ると、「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」、「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」の2項目は前年度より満足度が向上しているものの、そのほかの13項目は前年度を下回っています。

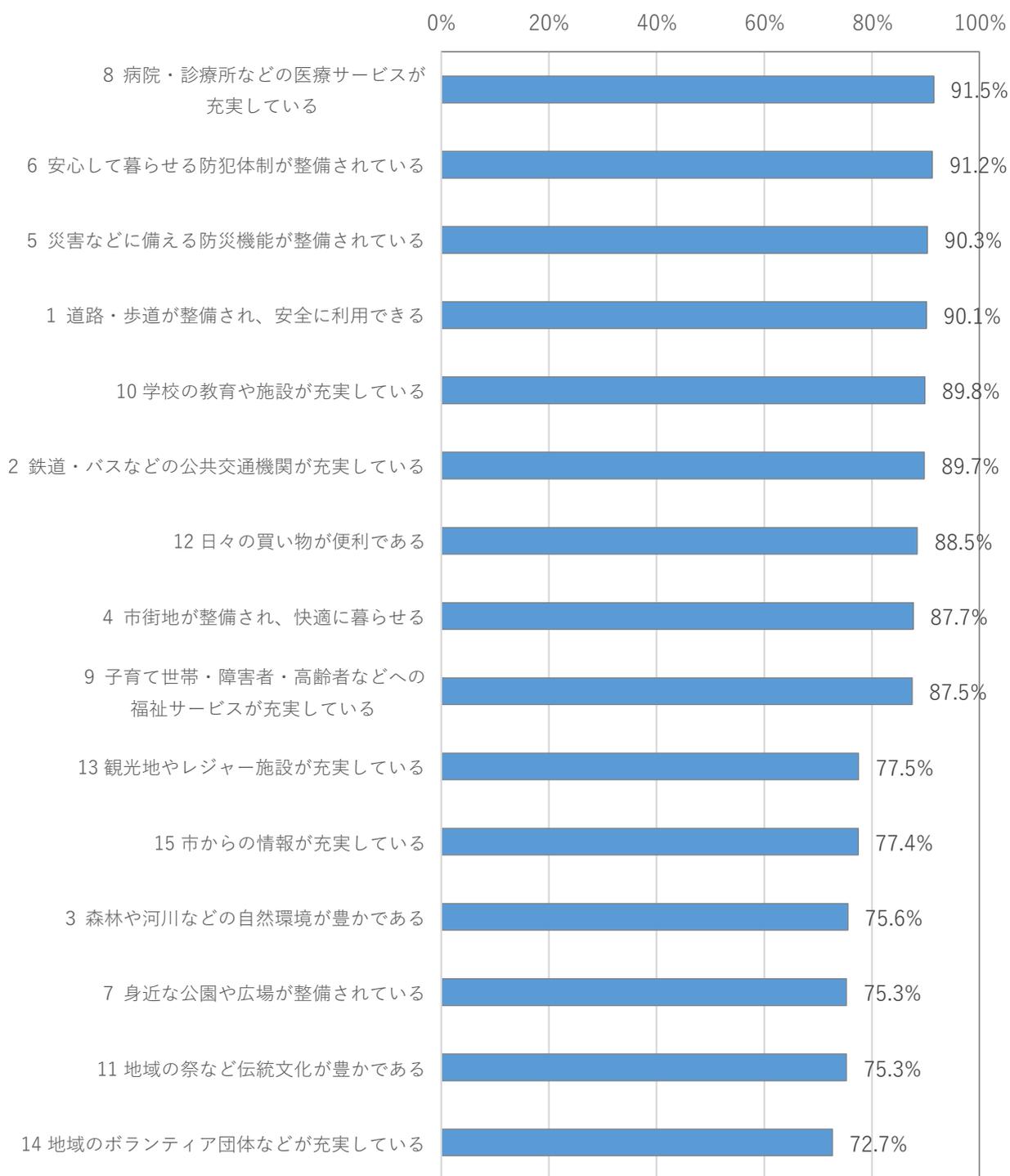
特に、「12 日々の買い物が便利である」は前年比 -0.18 と下落が最も大きく、次いで「10 学校の教育や施設が充実している」が同 -0.17 と下落が目立っています。



(2) 重要度

「重要」と「やや重要」の合計値『重要』を見ると、「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」（91.5%）が最も高く、次いで「6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている」（91.2%）、「5 災害などに備える防災機能が整備されている」（90.3%）、「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」（90.1%）が9割以上となっています。

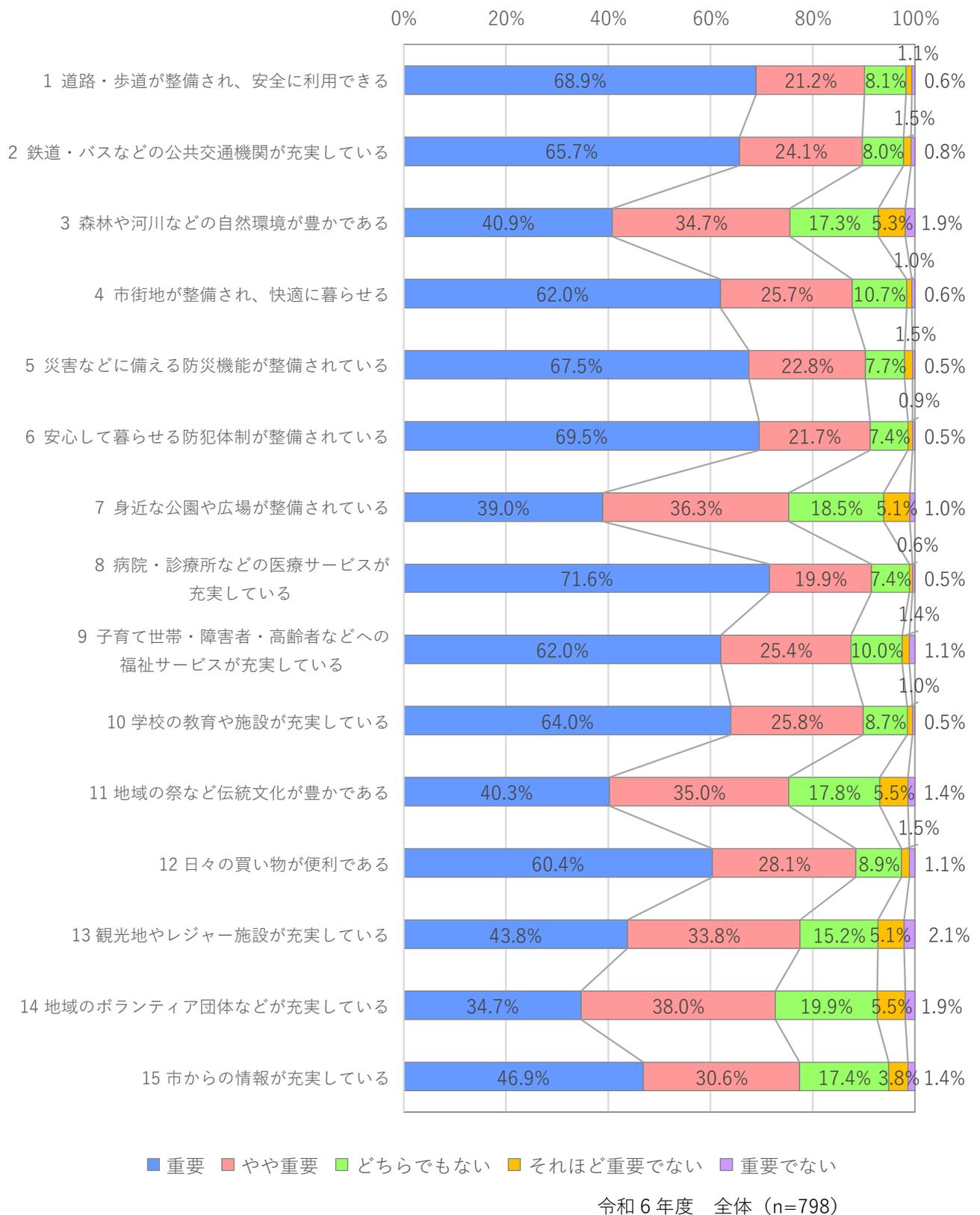
また、満足度が高かった「3 森林や河川などの自然環境が豊かである」や「11 地域の祭など伝統文化が豊かである」は、重要度においてはいずれも下位となっています。



■ 令和6年度 合計値『重要』（「重要」＋「やや重要」）（n=798）

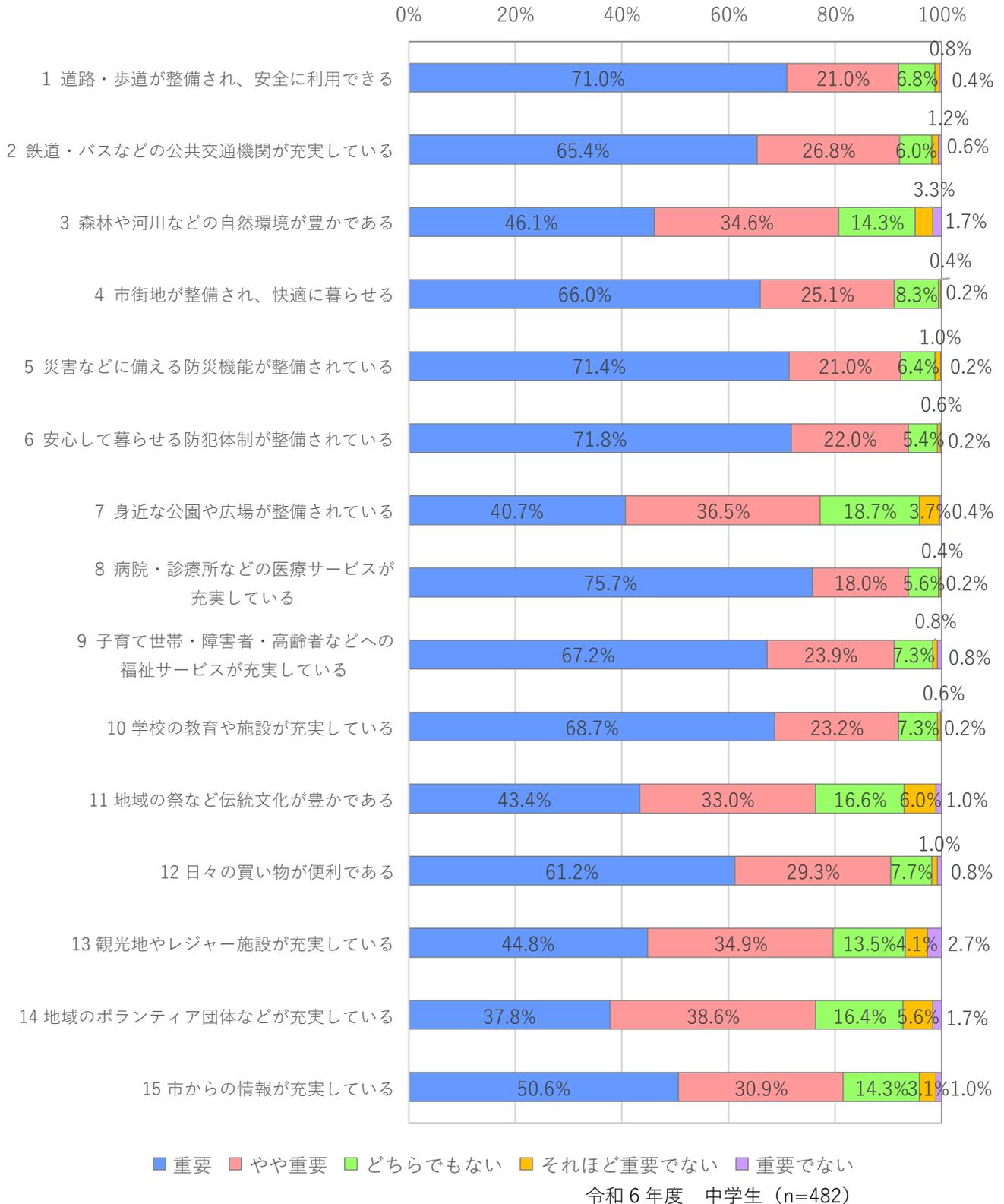
【全体重要度】

中学生と高校生の全体の回答における、各項目の重要度の分布は、以下のとおりです。



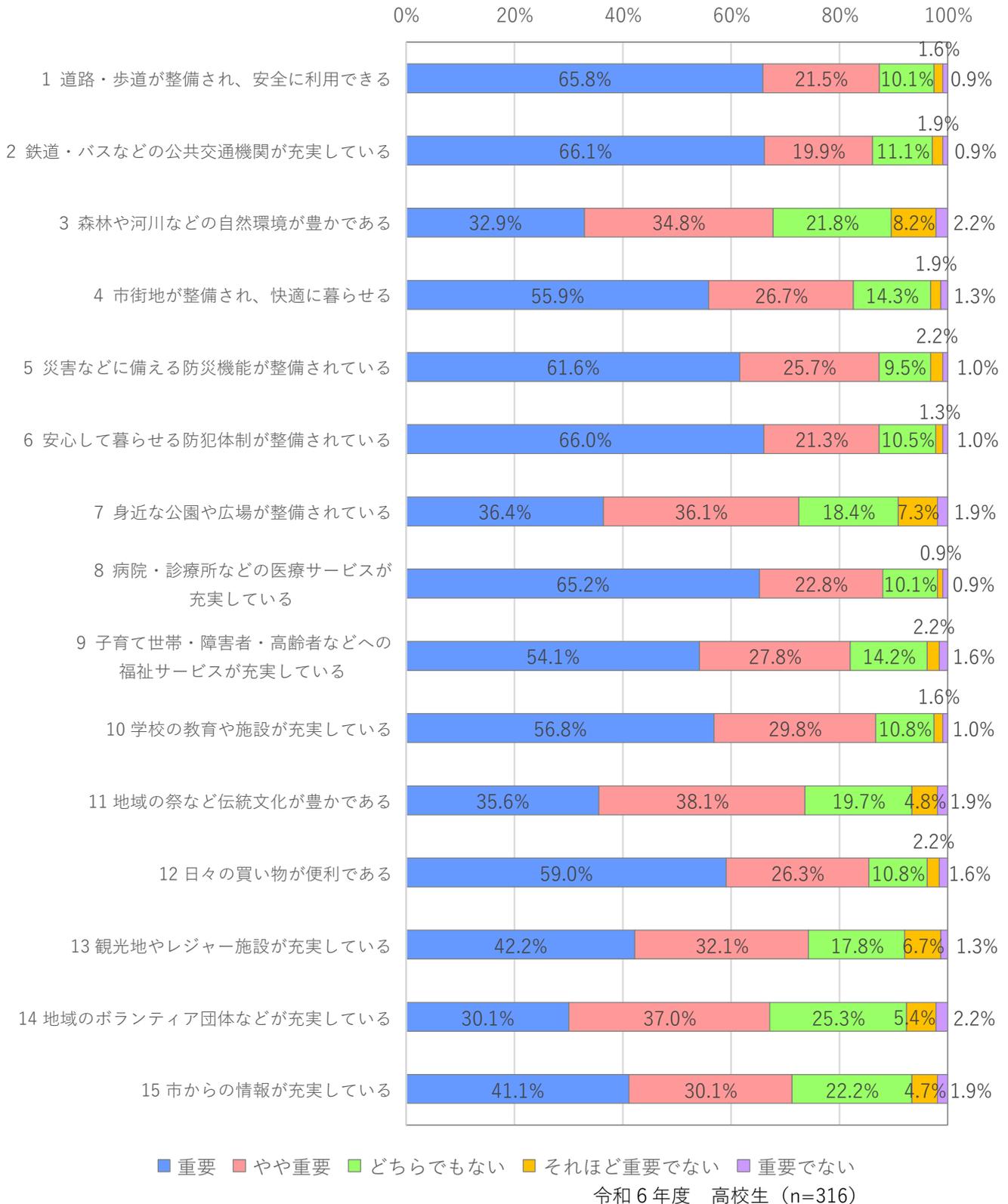
【中学生・重要度】

「重要」と「やや重要」の合計値『重要』を見ると、全体と同様に「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」（93.8%）、「6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている」（93.8%）が並んで最も多くなっています。次いで、「5 災害などに備える防災機能が整備されている」（92.3%）、「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」（92.1%）が多くなっています。



【高校生・重要度】

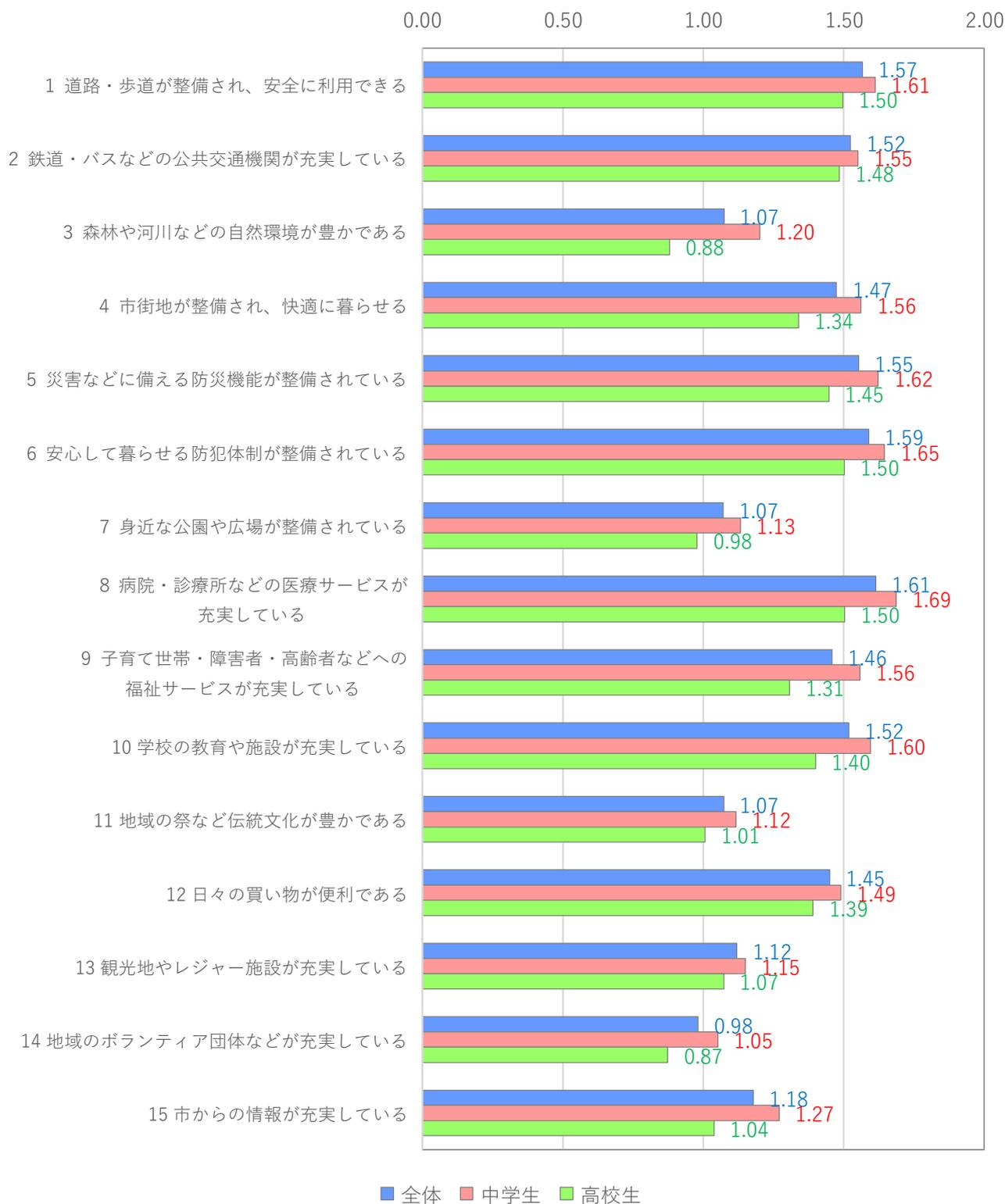
「重要」と「やや重要」の合計値『重要』を見ると、全体と同様に「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」（88.0%）が最も多く、次いで「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」、「5 災害などに備える防災機能が整備されている」、「6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている」が87.3%で並んで多くなっています。



【加重平均値・重要度】

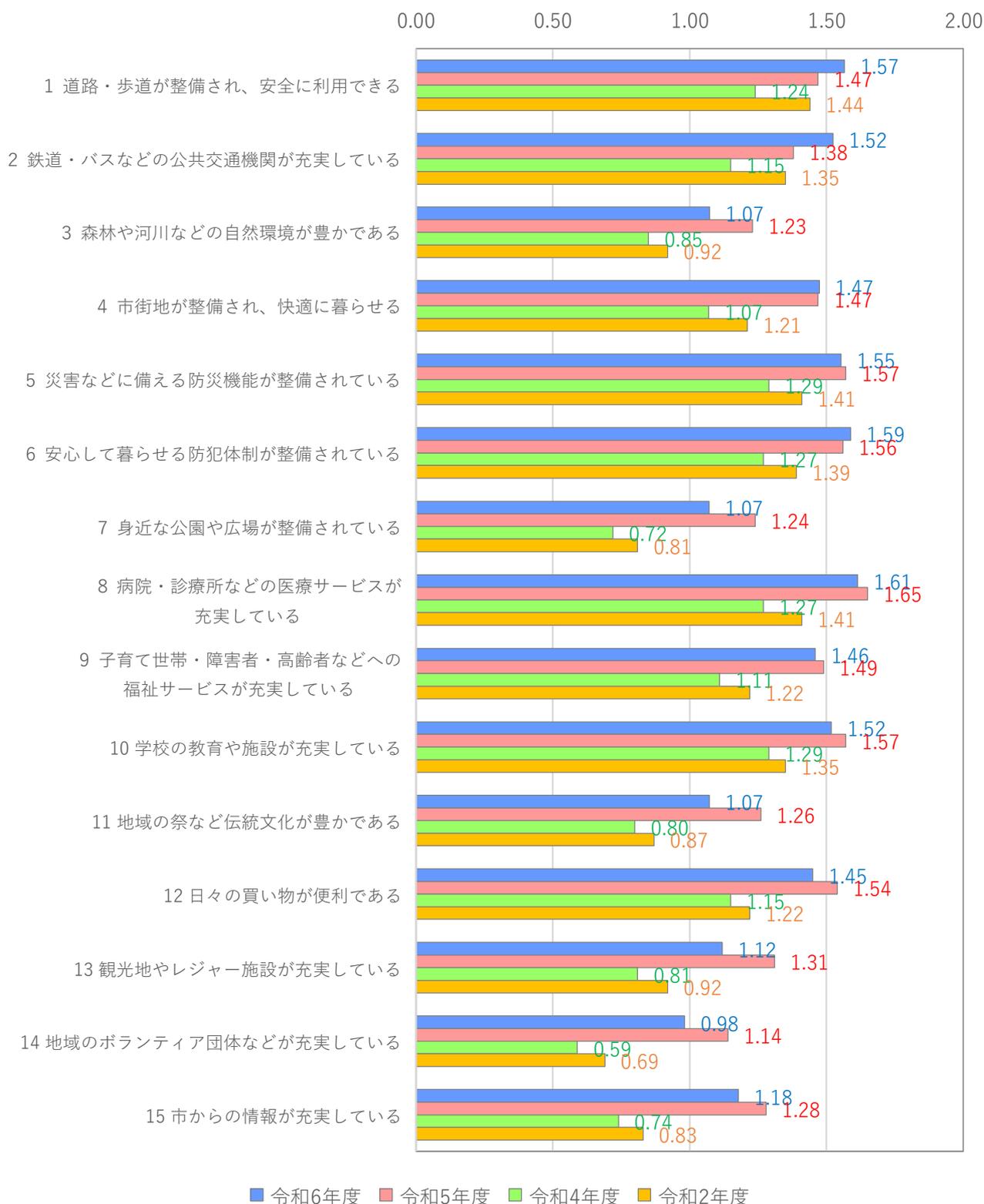
加重平均値を見ると、全体、中学生、高校生のいずれも全ての項目がプラス値となっています。最も高かったのは「8 病院・診療所などの医療サービスが充実している」（全体1.61、中学生1.69、高校生1.50）で、次いで「6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている」（全体1.59、中学生1.65、高校生1.50）が高くなっています。

一方、いずれも「14 地域のボランティア団体などが充実している」（全体0.98、中学生1.05、高校生0.87）が最も低くなっています。



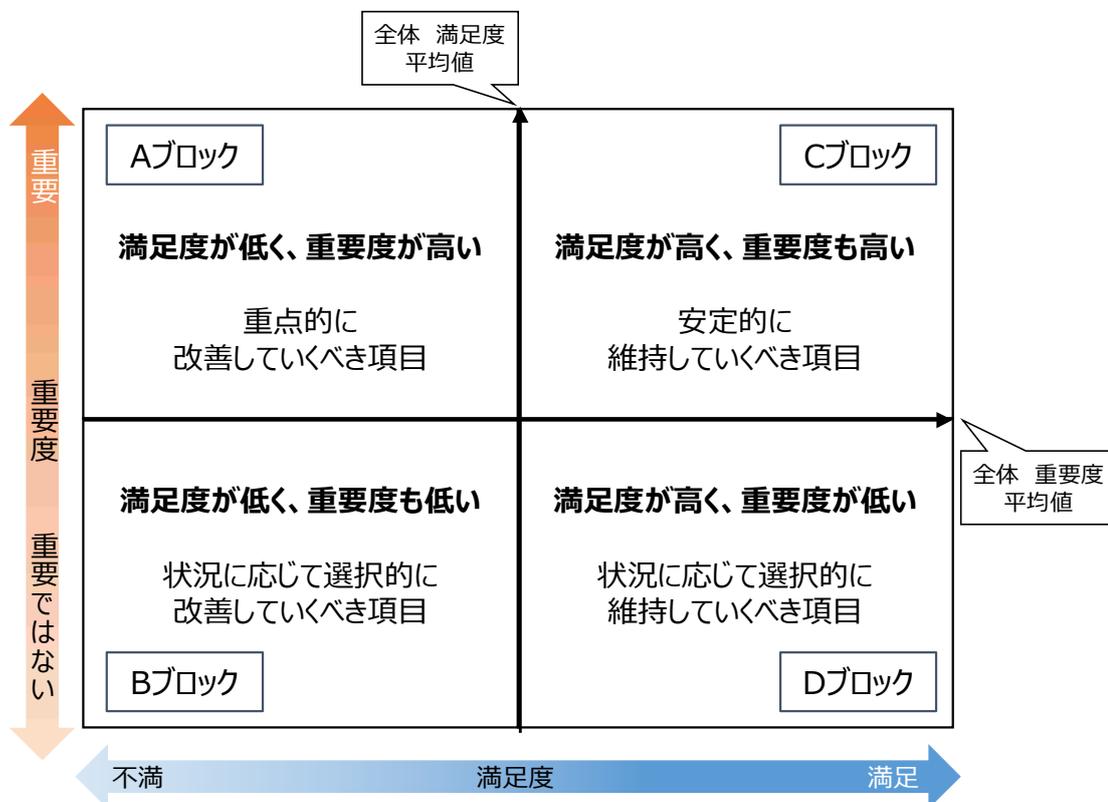
【加重平均値・全体・重要度の経年変化】

加重平均値を見ると、前年度から重要度が増加している項目は、「1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる」（前年比+0.10）、「2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している」（同+0.14）、「6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている」（同+0.03）の3項目のみとなっており、全体的に前年度から重要度は減少しています。特に、「11 地域の祭など伝統文化が豊かである」、「13 観光地やレジャー施設が充実している」がともに前年比-0.19と減少が大きくなっています。



(3) 15項目の満足度と重要度の関係・経年比較

15項目それぞれの満足度と重要度の加重平均値をマトリックスグラフに示し、満足度及び重要度の全項目平均値を基準として、相対的な位置について4つの象限で見ると、おおむね以下に分類できます。



Aブロック 重点的に改善していくべき項目

満足度が低い一方、重要度が高く、施策の緊急性が高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析と、それに基づく施策の早急な見直しが求められています。

Bブロック 状況に応じて選択的に改善していくべき項目

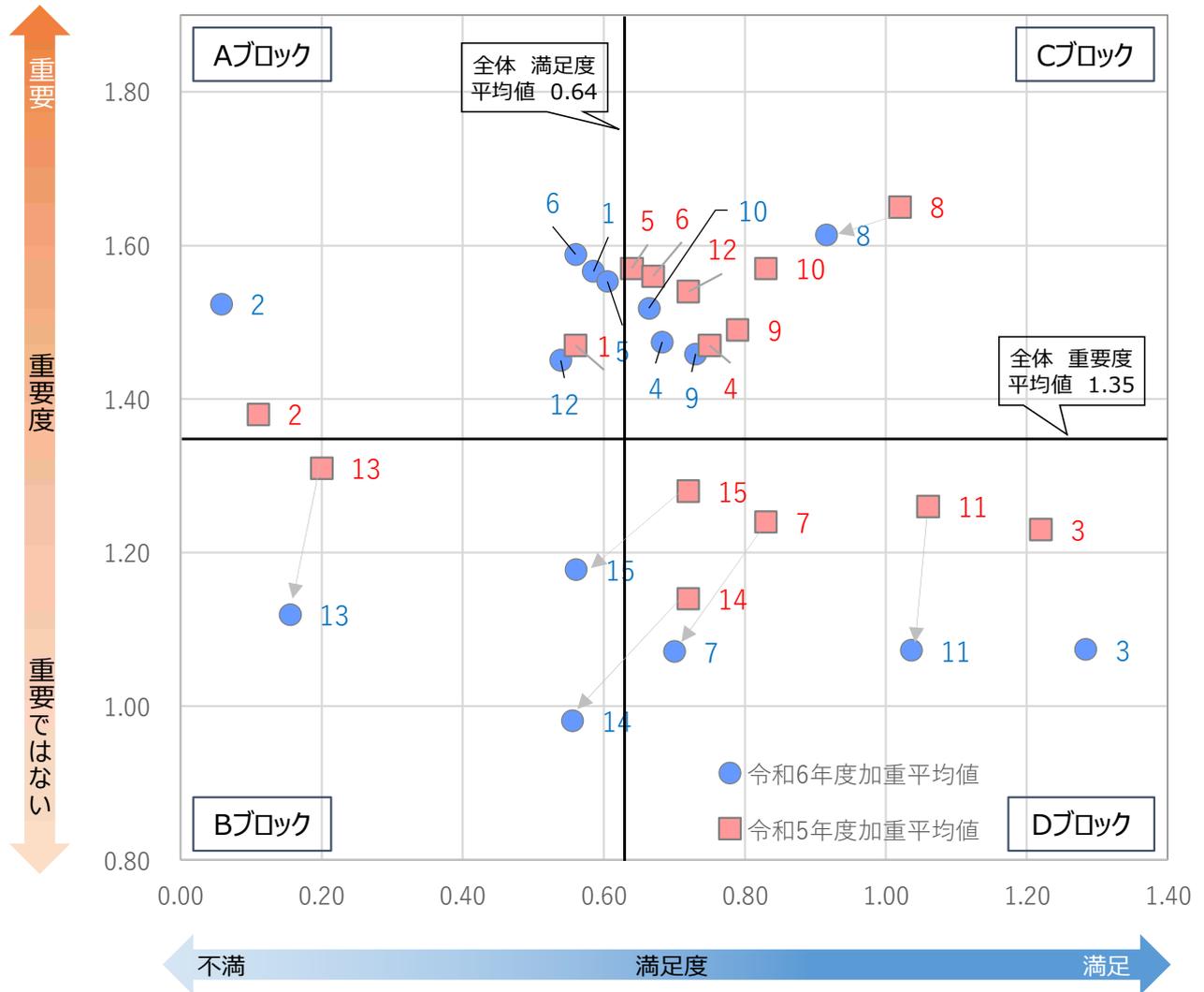
重要度・満足度ともに低く、市民に施策の必要性や具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性と市としての方向性、位置づけについて、市民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

Cブロック 安定的に維持していくべき項目

満足度・重要度ともに高く、施策の方向性と成果が市民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらに高いレベルでの拡充が求められていると考えられます。

Dブロック 状況に応じて選択的に維持していくべき項目

満足度が高い一方、重要度が低く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を求める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、必要性の周知や認識の共有を図ることが必要と考えられます。



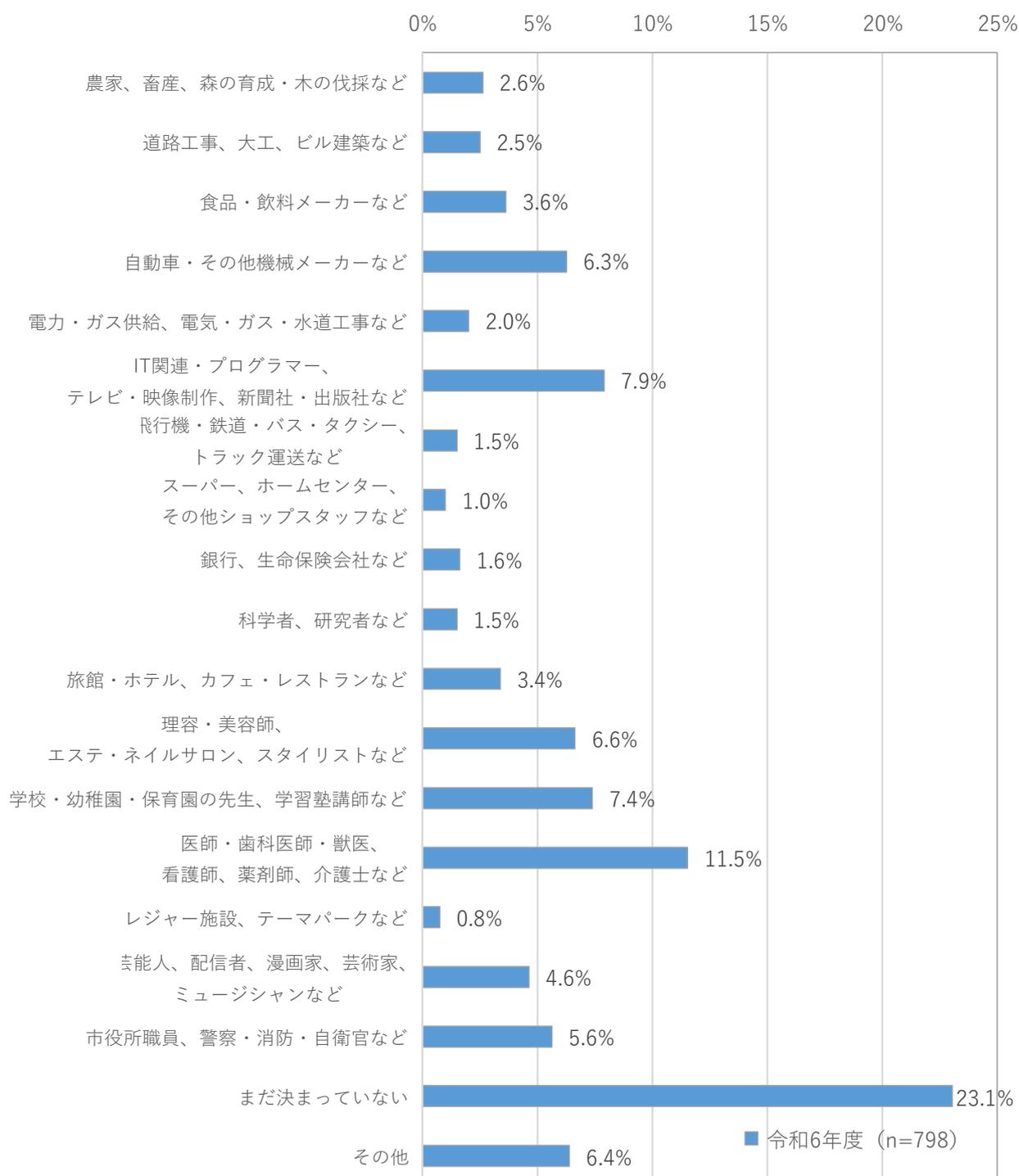
- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる | 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している |
| 2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している | 10 学校の教育や施設が充実している |
| 3 森林や河川などの自然環境が豊かである | 11 地域の祭など伝統文化が豊かである |
| 4 市街地が整備され、快適に暮らせる | 12 日々の買い物が便利である |
| 5 災害などに備える防災機能が整備されている | 13 観光地やレジャー施設が充実している |
| 6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている | 14 地域のボランティア団体などが充実している |
| 7 身近な公園や広場が整備されている | 15 市からの情報が充実している |
| 8 病院・診療所などの医療サービスが充実している | |

3 将来のなりたい職業について

問2 将来なりたい仕事の分野

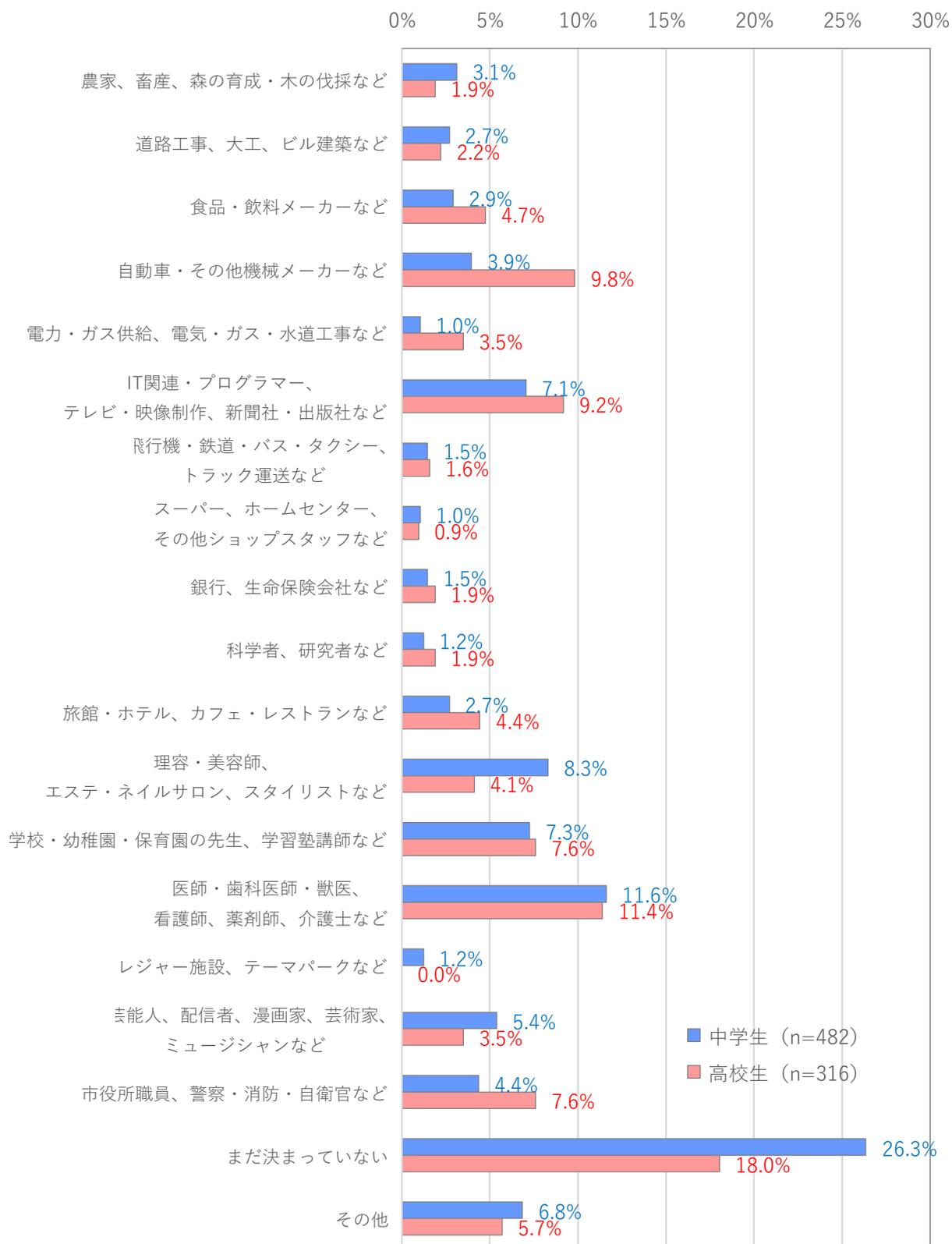
あなたが将来、なりたい仕事の分野を次のうちから3つまで選んでください。

全体では「まだ決まっていない」（23.1%）が最も多くなりましたが、それを除くと、「医師・歯科医師・獣医、看護師、薬剤師、介護士など」（11.5%）が最も多く、次いで「IT関連・プログラマー、テレビ・映像制作、新聞社・出版社など」（7.9%）、「学校・幼稚園・保育園の先生、学習塾講師など」（7.4%）が多くなっています。



【中学生・高校生別】

中学生・高校生ともに、「まだ決まっていない」を除くと、「医師・歯科医師・獣医、看護師、薬剤師、介護士など」が最も多く、次いで、中学生は「理容・美容師、エステ・ネイルサロン、スタイリストなど」（8.3%）、高校生は「自動車・その他機械メーカーなど」（9.8%）が多く、「IT関連・プログラマー、テレビ・映像制作、新聞社・出版社など」は中学生・高校生ともに多くなっています。



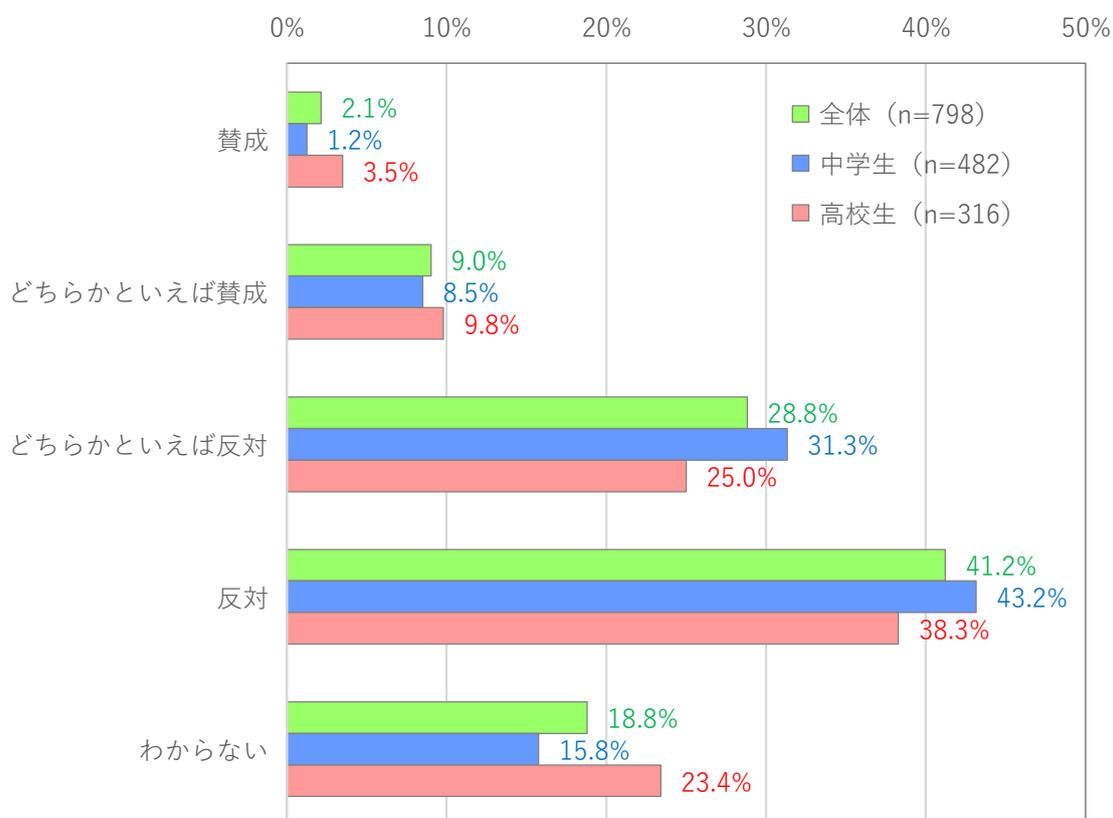
4 社会的な男女の意識について

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方

あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。（1つ選択）

全体では「反対」（41.2%）が最も多く、「どちらかといえば反対」（28.8%）を合計すると70%となっています。

属性別に見ると、中学生・高校生ともに「反対」、「どちらかといえば反対」が多くなっていますが、高校生のほうが「賛成」、「どちらかといえば賛成」が多くなっています。

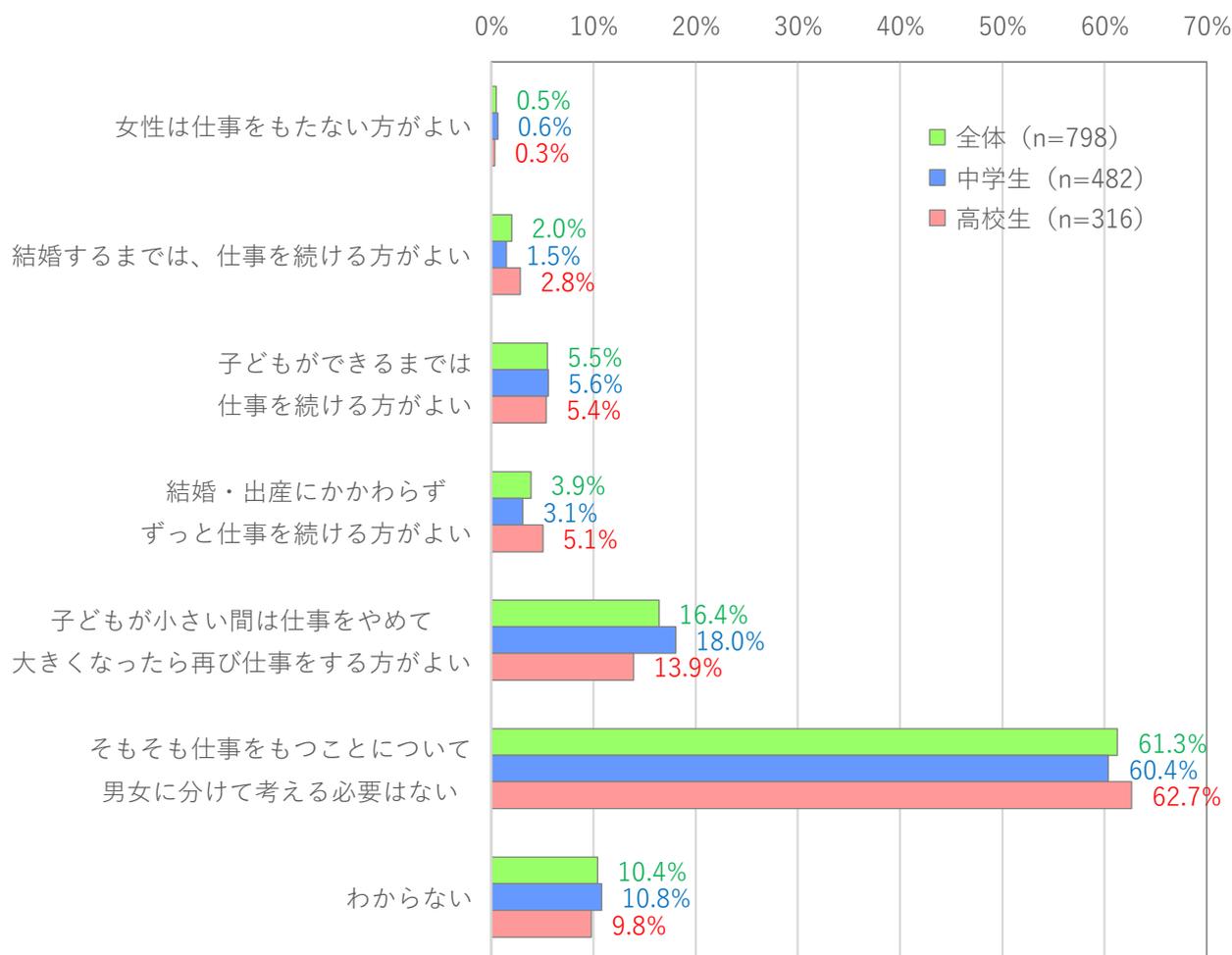


問4 女性が仕事をもつこと

一般的に女性が仕事をもつことについて、どう思いますか。（1つ選択）

全体、中学生、高校生いずれも、「そもそも仕事をもつことについて、男女に分けて考える必要はない」が最も多くなっています。

属性別に見ると、中学生のほうが「子どもが小さい間は仕事をやめて、大きくなったら再び仕事をする方がよい」が多く、高校生のほうが「結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事をする方がよい」が多くなっています。



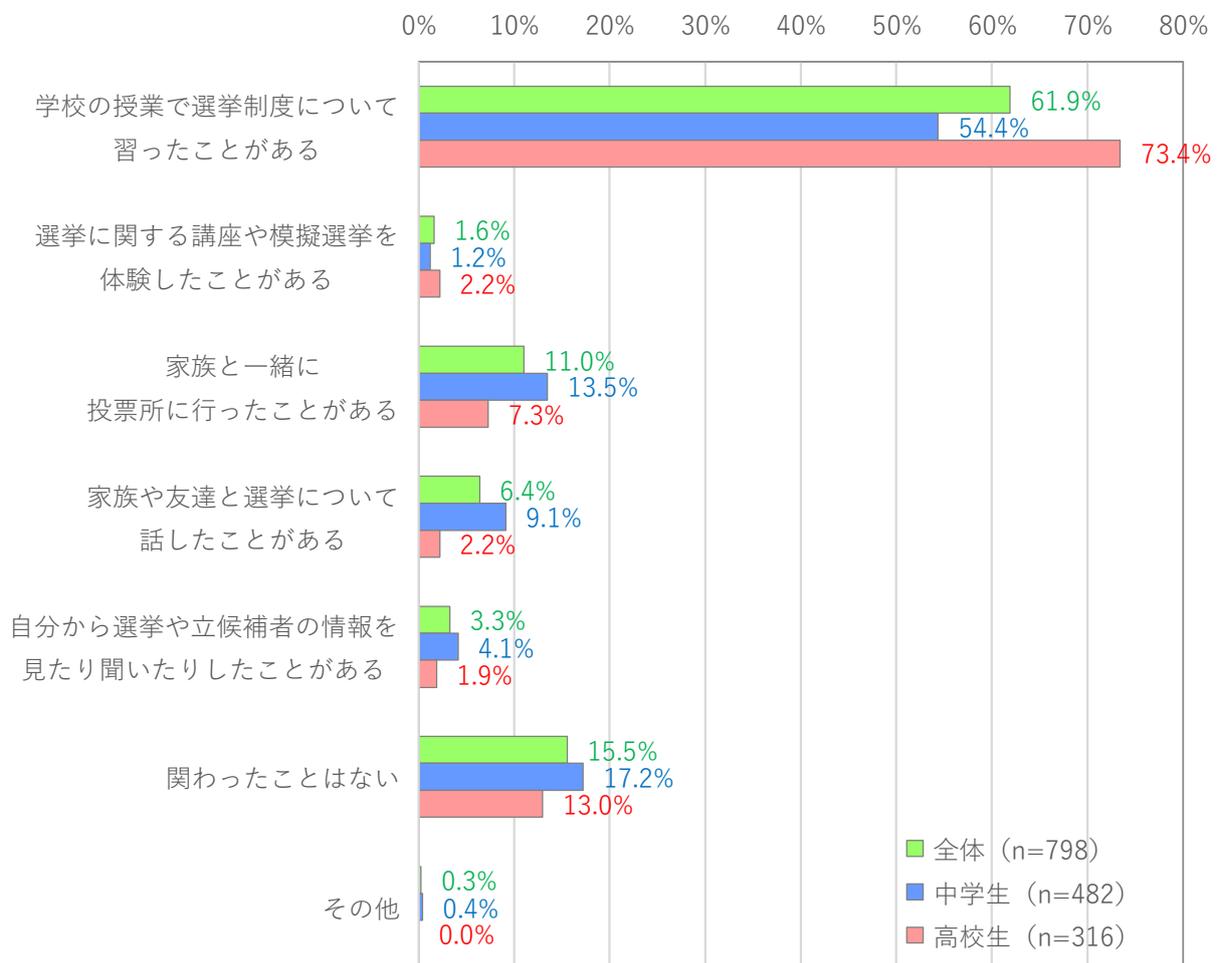
5 選挙について

問5 選挙への関わり

あなたは、選挙（制度、投票、実際の選挙）に関して、今までどのようなことに関わったことがありますか。（当てはまるものを全て選択）

全体、中学生、高校生いずれも、「学校の授業で選挙制度について習ったことがある」が最も多くなっています。

属性別に見ると、「学校の授業で選挙制度について習ったことがある」答えた割合は高校生の方が多くなっていますが、中学生は「家族と一緒に投票所に行ったことがある」、「家族や友達と選挙について話したことがある」が多くなっています。

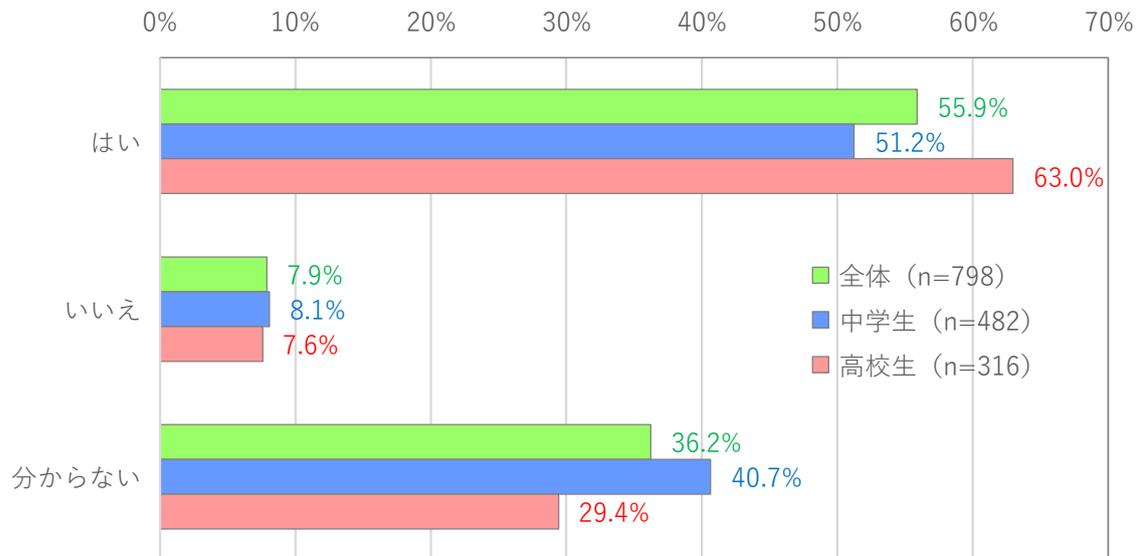


問6 投票意向

あなたは、18歳になったら選挙で投票に行こうと思いますか。（1つ選択）

全体、中学生、高校生いずれも、「はい」が最も多くなっています。

属性別に見ると、高校生のほうが「はい」が多く、中学生のほうが「分からない」が多くなっています。

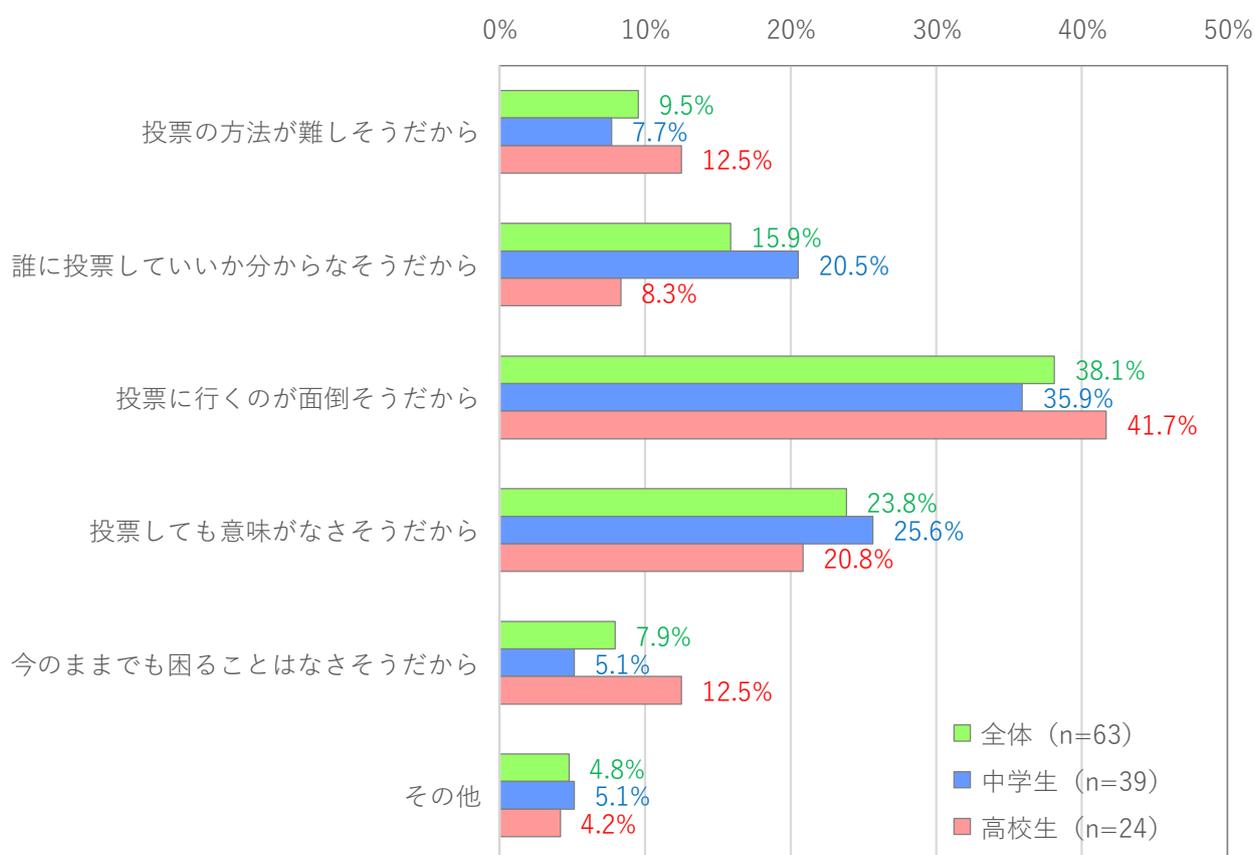


問7 投票に行かない理由

あなたが投票に行かないと思っている主な理由を選んでください。（1つ選択・「問6 投票意向」で「いいえ」を選択した場合）

全体、中学生、高校生いずれも、「投票に行くのが面倒そうだから」が最も多くなっています。

属性別に見ると、中学生のほうが「誰に投票していいか分からなそうだから」、「投票しても意味がなさそうだから」が多く、高校生のほうが「投票の方法が難しそうだから」、「今のままだも困ることはなさそうだから」が多くなっています。



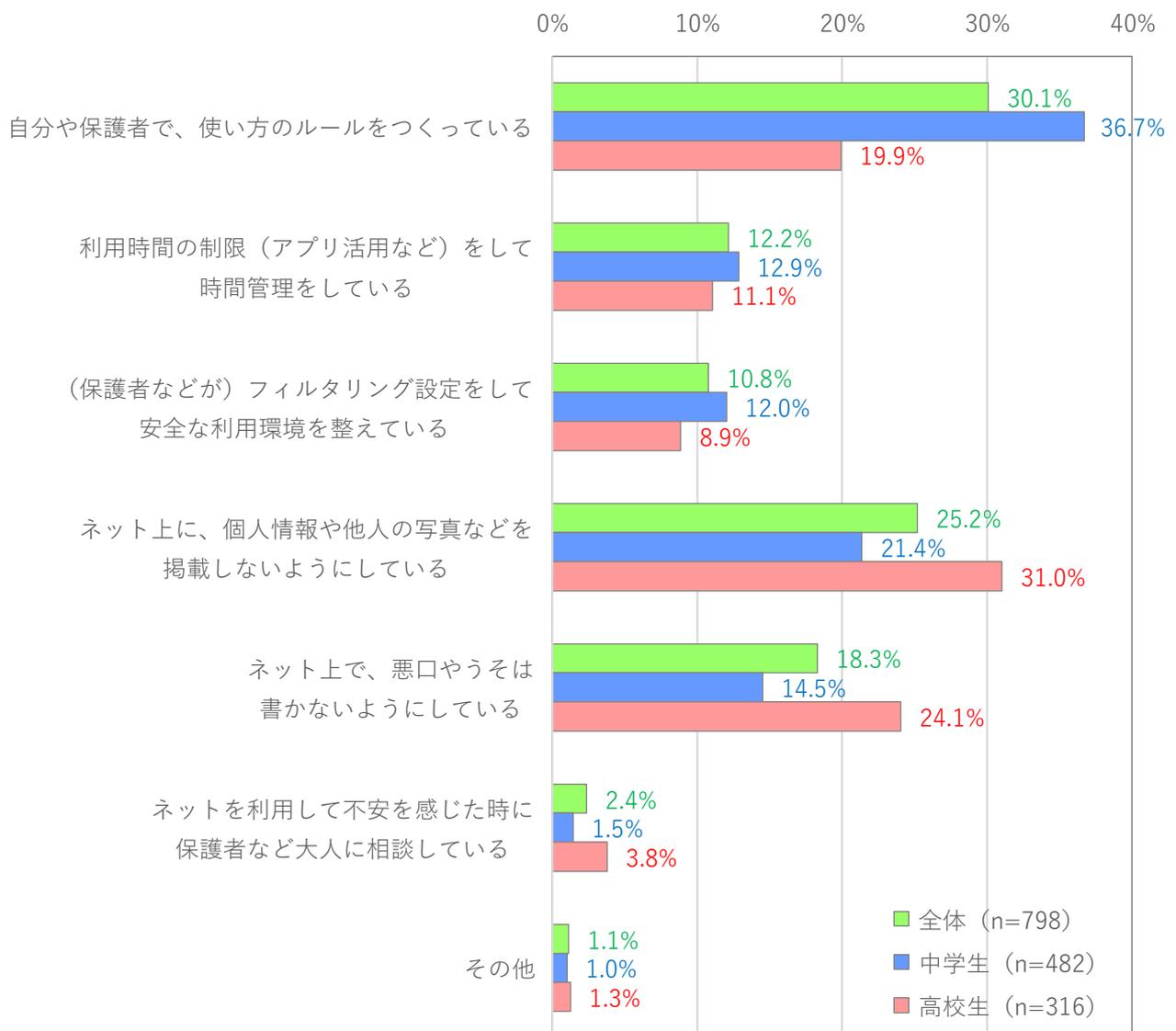
6 インターネットやSNSについて

問8 インターネットを有効かつ安全に利用するための対策

インターネットを有効かつ安全・安心に利用するために、あなたがしていることがありますか。（当てはまるものを全て選択）

全体、中学生では、「自分や保護者で、使い方のルールをつくっている」が最も多くなっています。

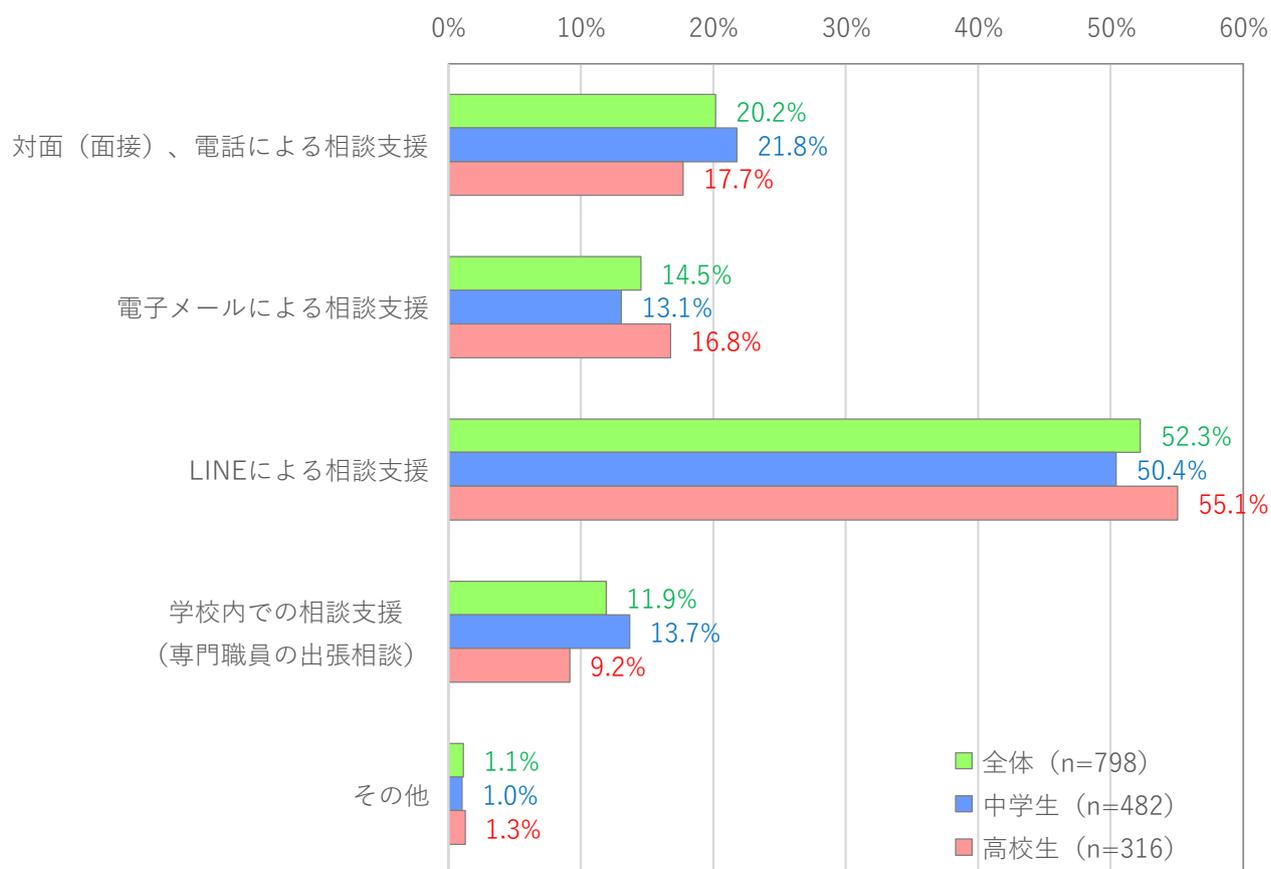
属性別に見ると、中学生は「自分や保護者で、使い方のルールをつくっている」が顕著で、高校生は「ネット上に、個人情報や他人の写真などを掲載しないようにしている」、「ネット上で、悪口やうそは書かないようにしている」が多くなっています。



問9 SNSトラブル相談の方法

渋川市は、SNS上のトラブルに対して対面、電子メール、電話による相談窓口を開設し、弁護士費用の補助をしています。どのような支援があれば利用しやすいと思いますか。
(当てはまるものを全て選択)

全体、中学生、高校生いずれも、「LINEによる相談支援」が最も多くなっています。
属性別に見ると、中学生のほうが「対面（面接）、電話による相談支援」、「学校内での相談支援」が多く、高校生は「電子メールによる相談支援」が多くなっています。



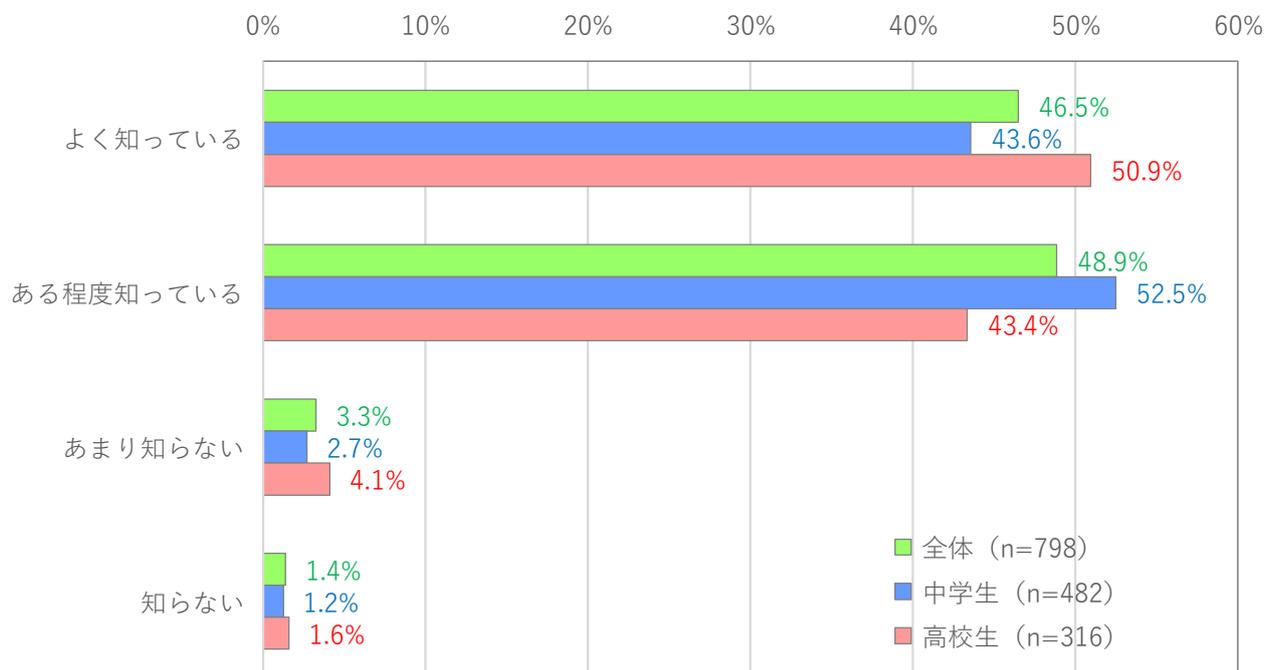
7 食品ロスについて

問10 食品ロス問題の認知度

あなたは、「食品ロス（まだ食べることができるのに捨ててしまう食品）」が問題となっていることを知っていますか。（1つ選択）

全体では、「ある程度知っている」が最も多くなっており、「よく知っている」と合計すると95.4%となっています。

属性別に見ると、中学生より高校生のほうが「よく知っている」が多くなっています。

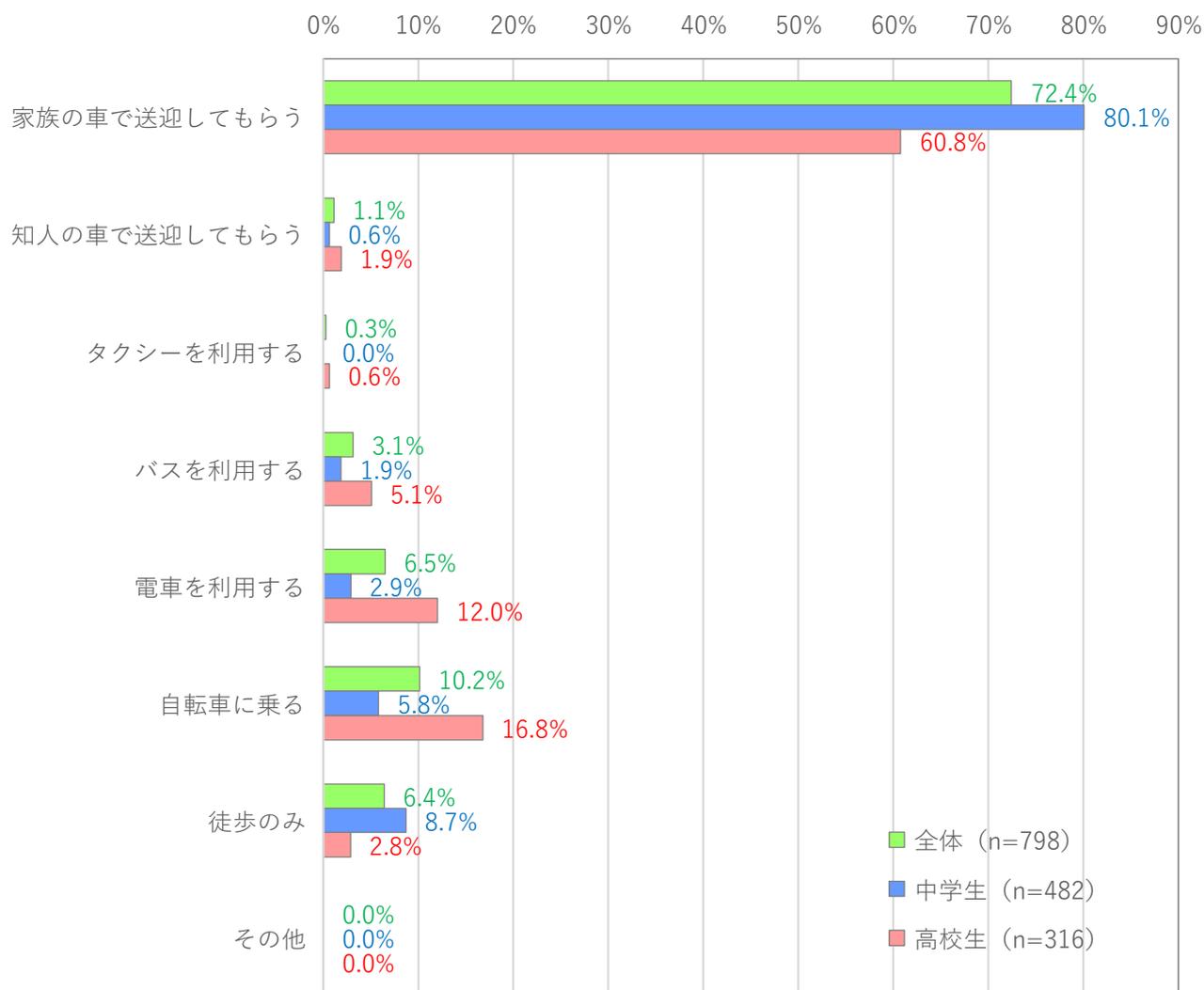


8 日常の移動手段について

問11 外出時の移動手段

あなたは、普段生活の中で外出する際にどのような移動手段を利用していますか。（当てはまるものを全て選択）

全体、中学生、高校生いずれも、「家族の車で送迎してもらう」が最も多くなっています。属性別に見ると、高校生は主に通学手段として、「バスを利用する」、「電車を利用する」、「自転車に乗る」が多くなっています。



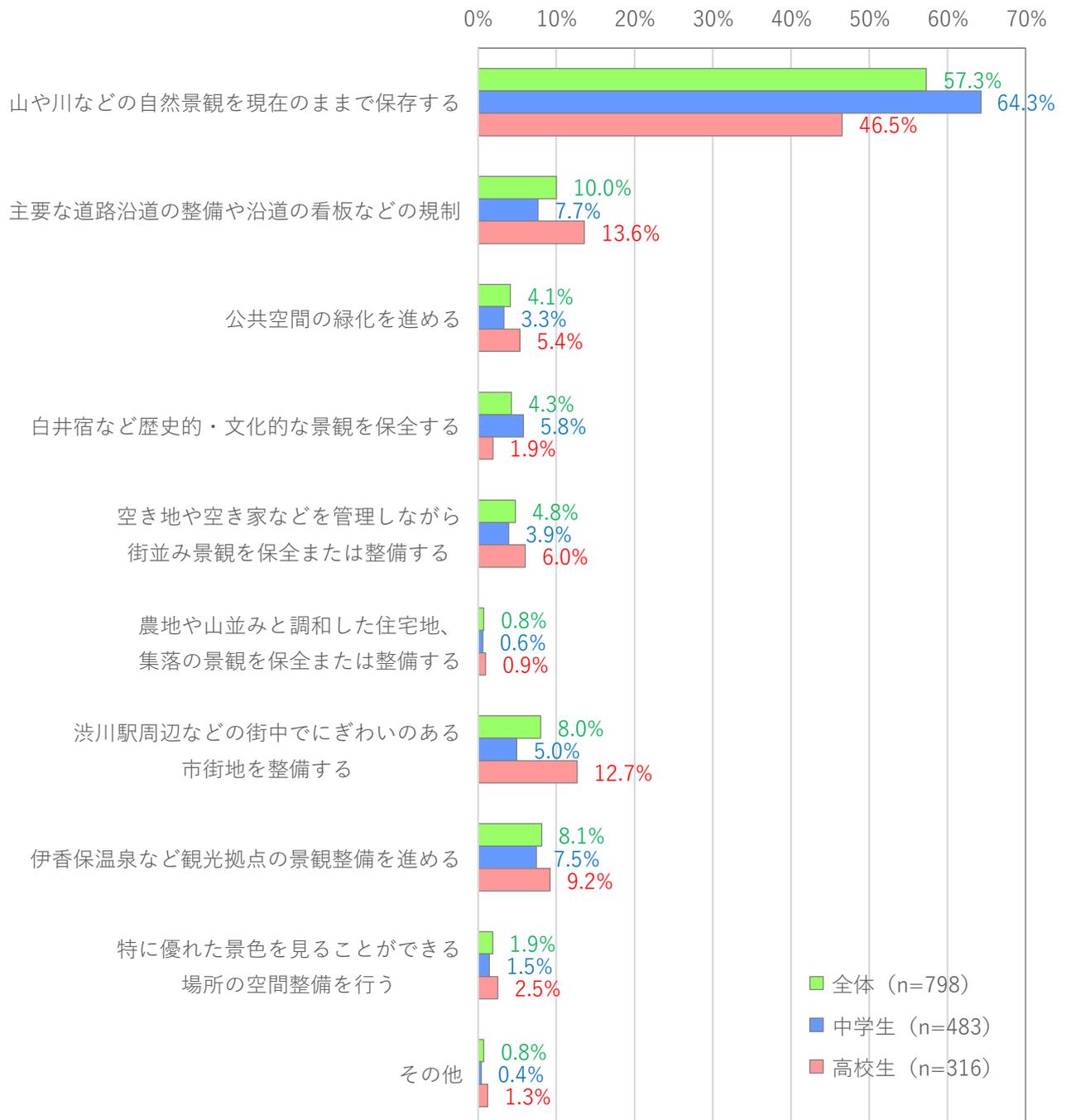
9 まちの景観整備について

問12 良好な景観づくりのために必要な取組

渋川市らしい良好な景観づくりに向けて、どのようなことが大切だと思いますか。（当てはまるものを全て選択）

全体、中学生、高校生いずれも、「山や川などの自然景観を現在のままで保存する」が最も多くなっています。

属性別に見ると、高校生のほうが「主要な道路沿道の整備や沿道の看板などの規制」、
「渋川駅周辺などの街中でにぎわいのある市街地を整備する」が多くなっています。



10 普段の読書習慣について

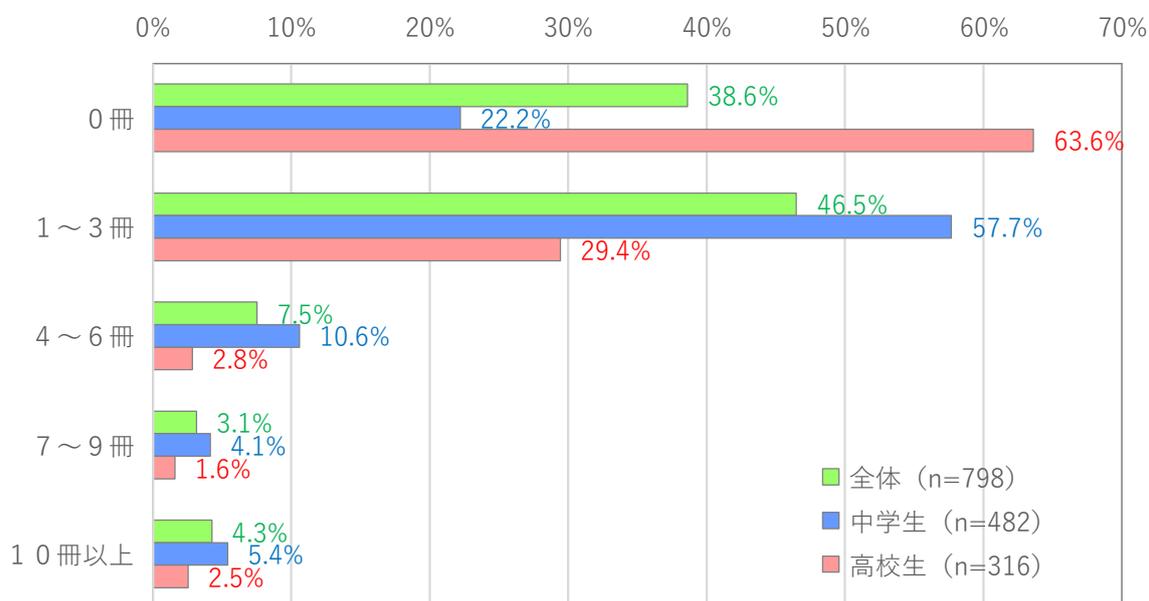
問13 紙の本、電子書籍を読む量

あなたは、紙の本、電子書籍のそれぞれについて、1カ月の間にどのくらい本を読みますか。教科書・学習参考書は除いてお答えください。（1つ選択）

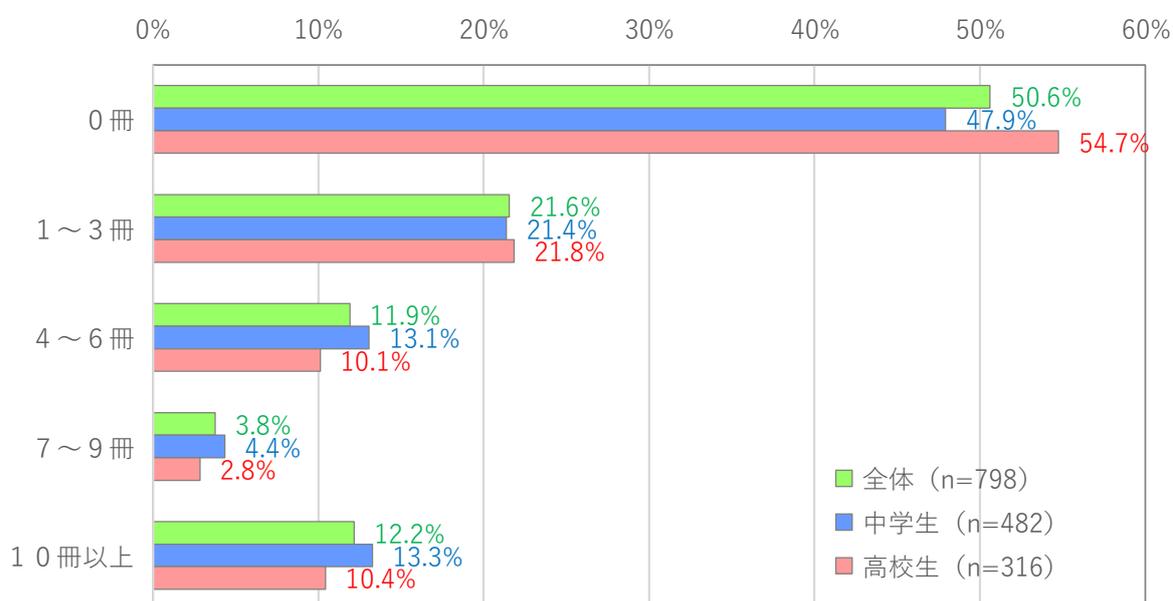
紙の本については、高校生の6割以上が「0冊」となっている一方、中学生の6割近くが「1～3冊」となっています。全体的に、紙の本を読む量は中学生のほうが上回っています。

電子書籍については、中学生、高校生ともに約5割が「0冊」となっていますが、「10冊以上」の回答も中学生、高校生ともに1割以上となっています。

【紙の本を読む量】



【電子書籍を読む量】



11 市政について

問13 市長になったら力を入れたいこと

あなたが渋川市の市長になったら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（自由記入）

485人から意見をいただきました。これを、第2次渋川市総合計画後期基本計画の6つの分野に読み分けました。

なお、複数の分野にまたがる内容をそれぞれの分野に整理、集計した結果、意見数は605件となりました。

各分野に関する主な意見を以下に示します。なお、原則として原文のままとしています。

分野	意見数（件）
1 安全・安心、暮らし分野	102
2 健康、福祉、スポーツ分野	58
3 産業分野	125
4 都市基盤、自然環境分野	198
5 教育、文化分野	43
6 自治、協働、行財政分野	70
7 その他	9
合計	605

【1 安全・安心、暮らし分野】

- ・みんなが平和で豊かに暮らせるまち
- ・大人も子どもも年齢が幅広い世代にも住みやすい街にしたい。
- ・災害等が起きた際に被害をより少ないものにするために国や我が市にもある自衛隊基地の自衛隊、消防などと、連携を速やかに行えるようにしていきたい。
- ・交通ルールなどを守って安全にしていきたいです。
- ・夜、暗くて危険なところがあるので街灯を多くする。
- ・子供から高齢者まで幅広い方々が快適（安全）に過ごしていくために、交通の整備や医療サービスは最低限行っていきたい
- ・災害が少なくてもしっかりと警戒心をもつことを大切にしていきたい
- ・犯罪対策を行い、市民全員が安心して住めるまちづくりをする
- ・災害に備えて防災設備を整えたい
- ・買い物などが遠くて大変な人のために、移動販売を行う（チラシやスマホでお知らせをし応募をしてくれた人を中心に販売をしてみたい）

【2 健康、福祉、スポーツ分野】

- ・病院・診療所など医療の充実
- ・保護者や妊婦などの支援
- ・子育てがしやすいように保険などサービスを整えたい
- ・子どもが遊べる施設や運動施設をもっと作りたい
- ・子どもがいる家庭への資金援助
- ・スポーツができる環境を増やして、人口を増やすようにする
- ・公共的な場所をバリアフリーにする
- ・子どもを産んだら給付金を配布する
- ・こども食堂の支援

【3 産業分野】

- ・イオンなどの施設をつくる
- ・イベントを多く開催する
- ・地域の特産物や有名な場所の紹介をわかりやすく、細かく発信し、渋川市な良さを周りに伝える
- ・家族で楽しめるスポットを作る
- ・季節の行事、年中行事、伝統行事のまつりを増やす
- ・渋川駅周辺の発展
- ・本屋さんを増やしたらいいと思います
- ・地域の伝統行事に参加する人が例年少なくなっているように感じるので、より多くの方が参加して文化を守っていけるように工夫したい。"
- ・もっと伊香保を楽しく、公園や小さい商店などを建ててほしい
- ・観光スポットを盛り上げるためにCMをしたりSNSに情報を上げる
- ・レジャー施設を増やす
- ・子どもが楽しく遊べる施設を増やす
- ・飲食チェーン店を増やす
- ・渋川市を舞台にした作品（イニシャルDなど）を全面に押し出した第3次産業を発展させる
- ・自然豊かな環境を利用して環境と触れ合えるような施設をつくる
- ・美味しい食べ物がたくさん食べれる街にしたい
- ・渋川市に来た旅行客・外国人観光客に対して観光料の税金を徴収
- ・渋川の伝統的なまつり、山車祭りやへそまつりをもっと賑やかにさせたい
- ・働き方改革の推進
- ・移住体験ツアーの実施
- ・駅の待合室を増やしたい
- ・外国人も活躍できる仕事の環境づくり

【4 都市基盤、自然環境分野】

- ・道路や歩道の整備
- ・渋川市の自然は都会では見ることのできないものなので自然を壊さないまちづくりをしたい。
- ・公共交通機関を充実させる
- ・もっと家を作れる土地を増やす
- ・身の回りの緑を増やす活動をし自然・住民両方のストレスを減らし、穏やかかつ快適に暮らせるようにする
- ・自然や歴史的な建造物の保護、渋川市の市街地の整備
- ・交通インフラの整備
- ・ゴミが全くない綺麗な町にするために一般の人たちにポイ捨てをしないことを約束してもらうために力を入れたい。
- ・公園を増やす
- ・自動運転の車をたくさん用意して、敷島駅においておく。お金を払えばどこにでも行けるようにする
- ・除雪車などの車を増やす
- ・インターネット環境を良くする
- ・空き家を減らす
- ・川の不法投棄物（住民のゴミ袋が川に捨てられたまま放置されている）の除去
- ・車以外に移動手段がない地域にガソリン代の補助を行う
- ・自転車専用レーンを作る

【5 教育、文化分野】

- ・文化財をひろめ、歴史的なものを保存
- ・私立の無償化
- ・自習室を増やして欲しい
- ・専門的なことを学べる学校（高校など）を増やす。
- ・学校のトイレをきれいにする
- ・体育館にエアコンを設置する
- ・給食費を一人1000円くらい払ってもらって、物価高にも対応できるようにする
- ・SGCDだけでなく、もっと大々的に一般の方に向けて留学キャンペーンを作ったり、実際に留学に行った方々のお話や現地の方々のお話を作る機会を設ける
- ・無料でなくても良いから高校生にも給食を出す
- ・男子校、女子校の廃止
- ・リモート授業なども取り入れて、効率よく勉強できる環境づくり
- ・学校にエレベーターを設置
- ・学校が嫌だったり、辛かったり、苦しかったりする子どものために「学校には必ず通わないといけない」という大人の認識を無くしたい

【6 自治、協働、行財政分野】

- ・ボランティア活動を増やす
- ・近くにきた外国人などを歓迎し、交流する場を設ける
- ・市民の意見を聞き、重要だと思うことから整備したりなどする。
- ・主婦の要望を聞いてみる
- ・他の市区町村と協力して地域の活動を増やしたりして子どもたちの交流の場を増やしたいと思う。
- ・市民たちのどういう市にしたいか聞いて、できることなら挑戦してみる。また、会議など仕事もあるがなるべく市民たちの様子などを見て、すごしやすい環境かを考える。
- ・市民にアンケートをとって、会議を開きサービスや支援金などを増やす。
- ・積極的に市民の意見を聞き市役所などに目安箱をおいて、市民の不満を解消したい
- ・住民に寄り添ったまちづくり
- ・若者にあっという間にアンケートし聞き入れる
- ・ChatGPT等のAIなどを利用して市政を行う
- ・人々の困ったことを調べて解決策を見つける
- ・地域の人達と交流できる場をつくり、定期的に意見交流を行う
- ・もっと海外との交流を入れる
- ・子供と大人が対等な立場で意見を言い合えるようにしたい
- ・選挙に投票する人を増やすこと
- ・ご近所づきあいを増やし、地域間での交流を今よりも増やしたい

【7 その他】

- ・減税、税金をなくす
- ・税金のかけるべきものを模索し、よりよい使われ方になるよう尽力したい。
- ・街を明るくする
- ・給料を上げる
- ・休日を増やす
- ・必要のない条例の改正案を出したい
- ・市議会議員の給料や、市長の給料を減給する

Ⅲ

中高生別・男女別集計項目

1 調査概要

令和6年度中学生・高意思識調査のうち、一部の項目において中高生別・男女別のクロス集計を行いました。

2 回答数

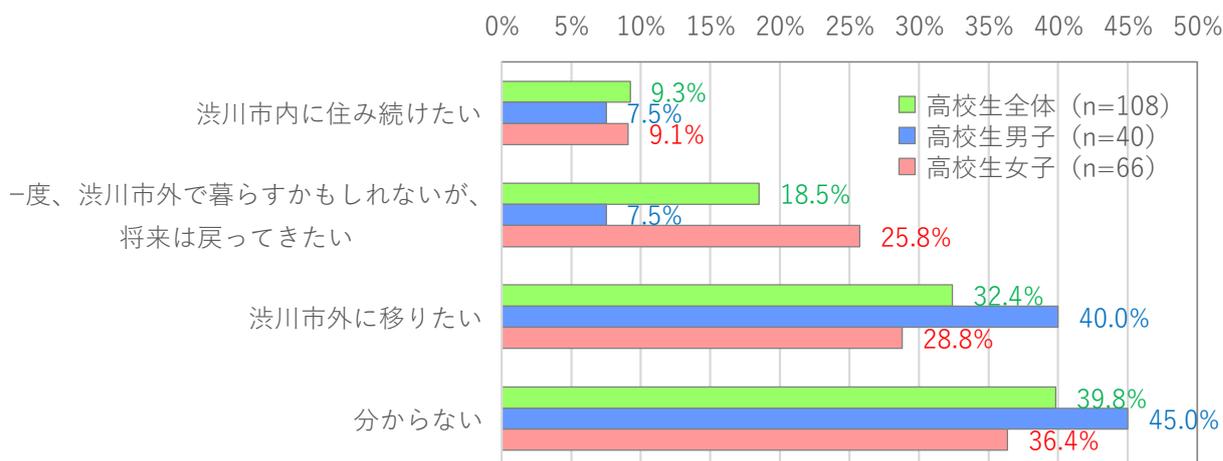
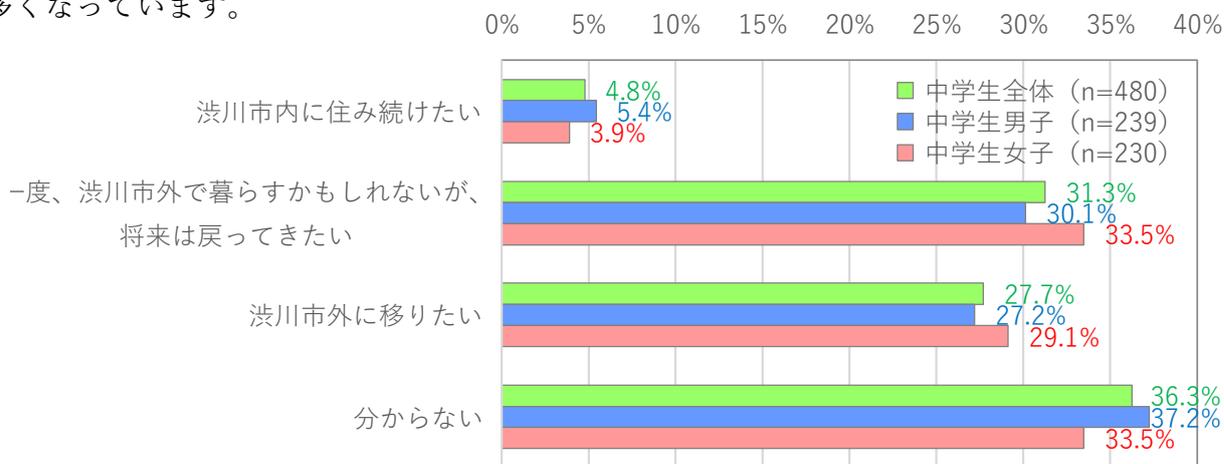
属性	男子回答数	女子回答数	全体回答数
中学生	239人	232人	482人
高校生	134人	175人	316人

※男女の合計が全体回答数と一致していないのは、性別無回答を含んでいるためです。

3 クロス集計抽出項目

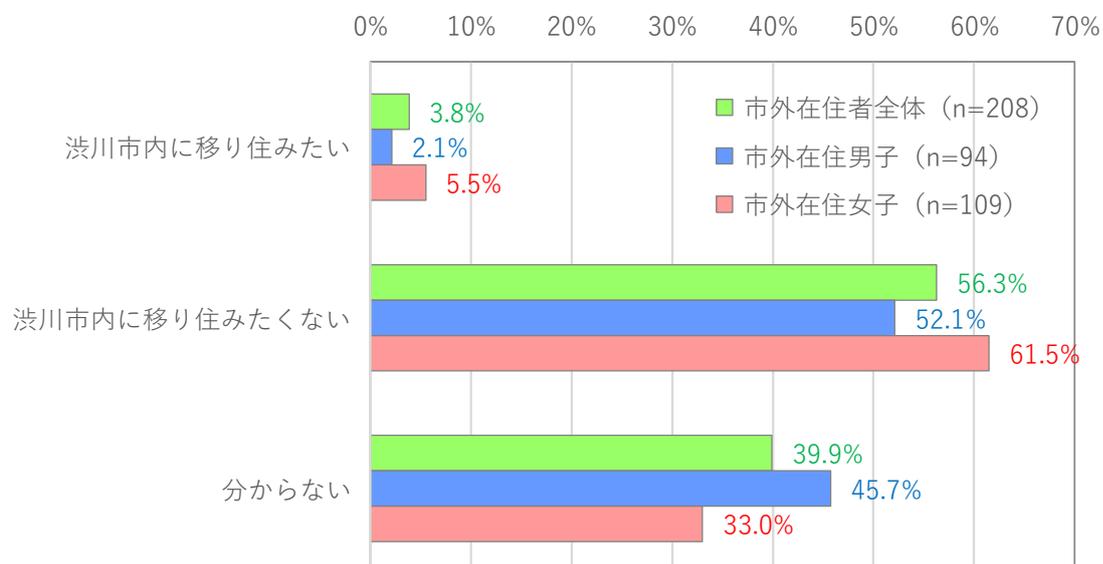
(1) 市内在住者における将来の渋川市への居留意向

市内在住者における将来の居留意向は、中学生よりも高校生のほうが「渋川市内に住み続けたい」が多くなっています。また、中学生は各項目に大きな差は見られませんが、高校生は女子のほうが「将来は戻ってきたい」が多く、男子のほうが「市外に移りたい」が多くなっています。



(2) 市外在住者における将来の渋川市への移住意向

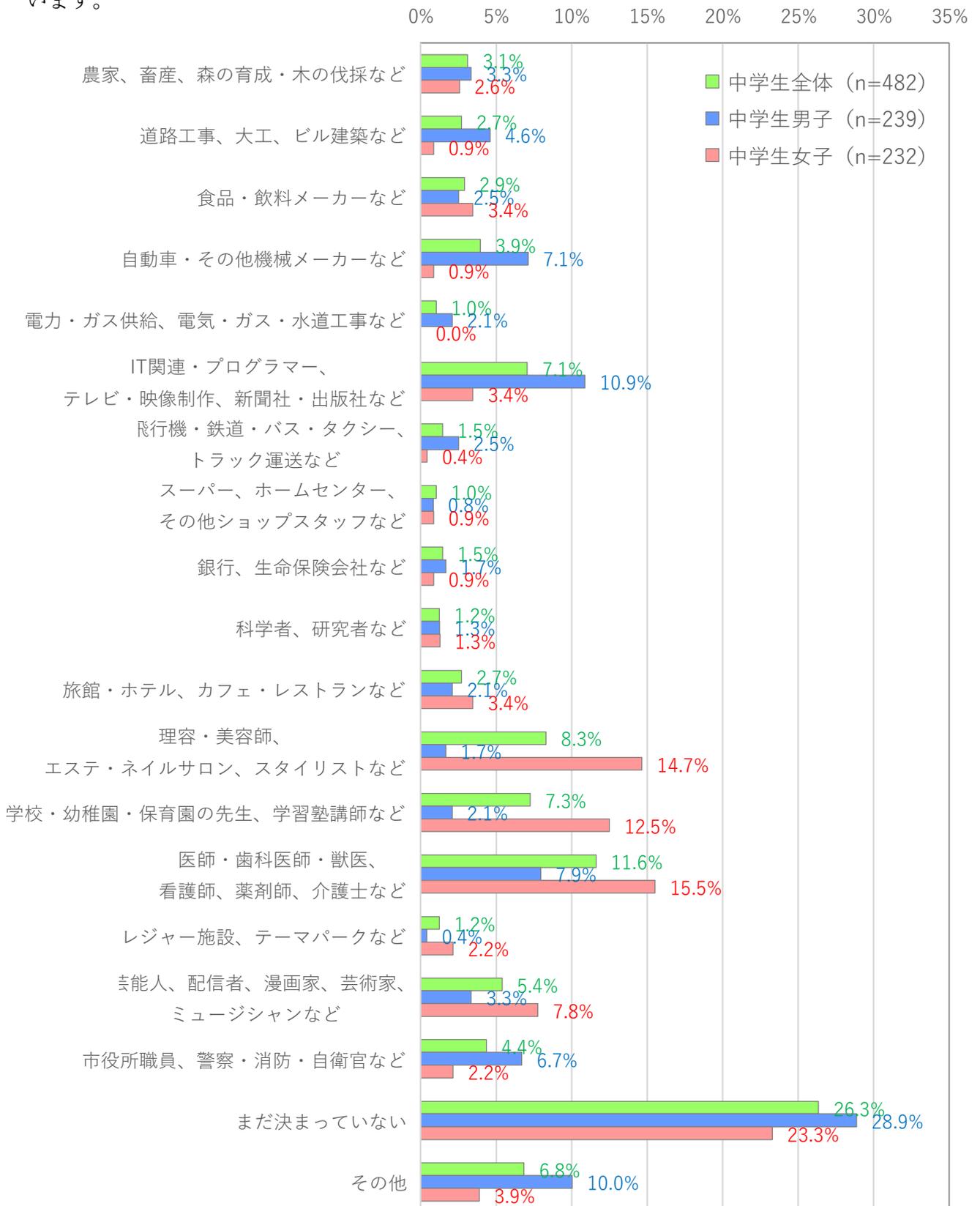
市外在住者（高校生）における将来の渋川市への移住意向は、男女いずれも「渋川市内に移り住みたくない」が最も多くなっており、「渋川市内に移り住みたい」、「渋川市内に移り住みたくない」のいずれも、男子よりも女子のほうが多くなっています。

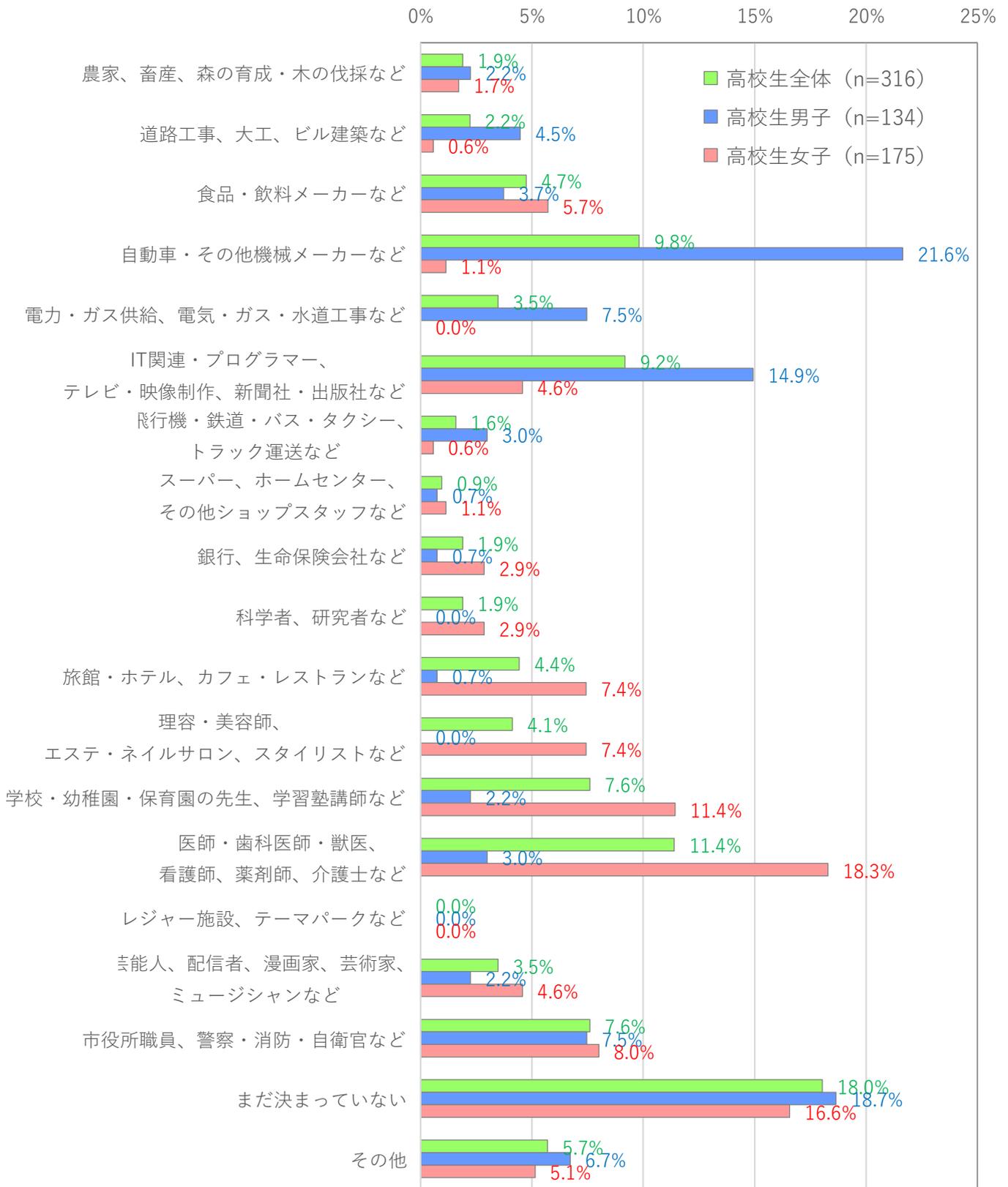


(3) 将来のなりたい職業について

「まだ決まっていない」を除くと、中学生・高校生ともに、女子は「医師・歯科医師・獣医、看護師、薬剤師、介護士など」が最も多くなっています。

男子では、「IT関連・プログラマー、テレビ・映像制作、新聞社・出版社など」が中学生・高校生ともに多く、高校生では「自動車・その他機械メーカーなど」が最も多くなっています。

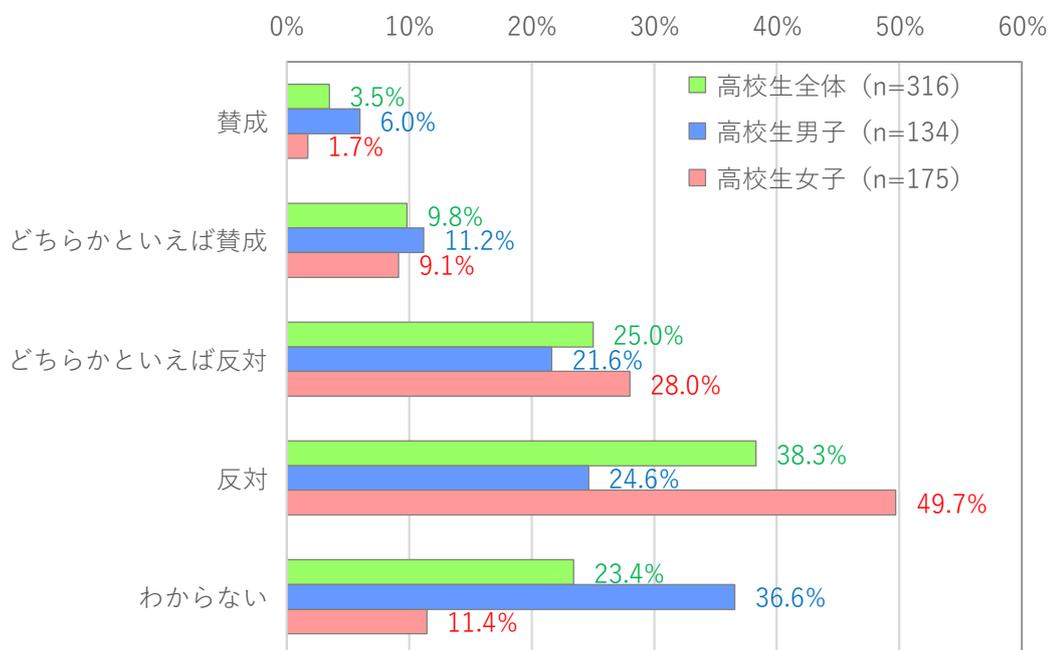
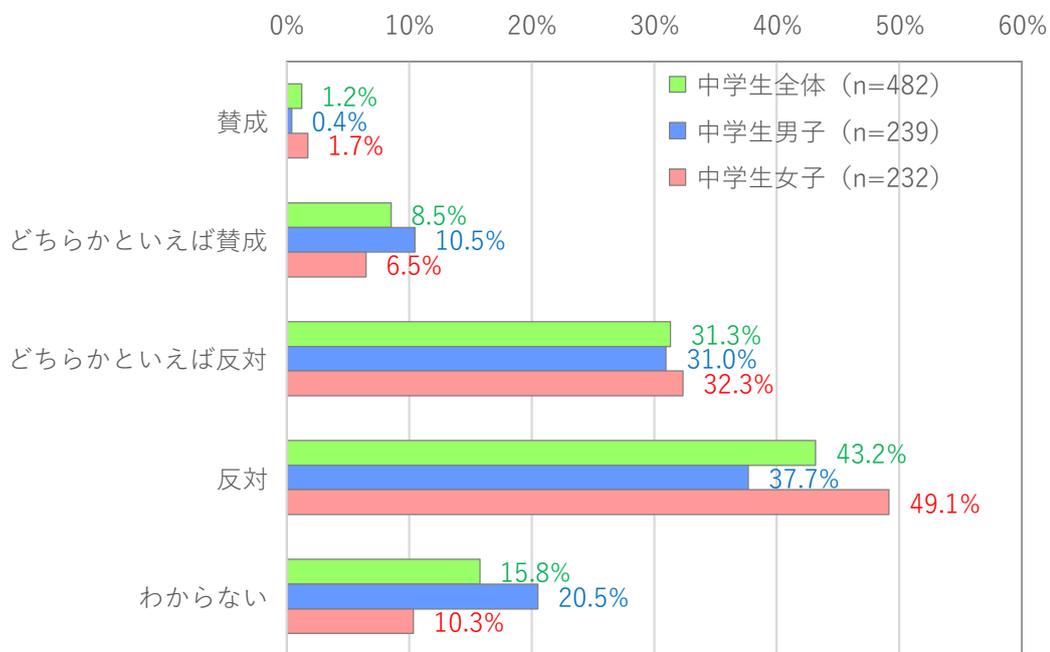




(4) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

中学生・高校生ともに「反対」が最も多くなっており、「反対」の回答率は女子のほうが男子を上回っています。

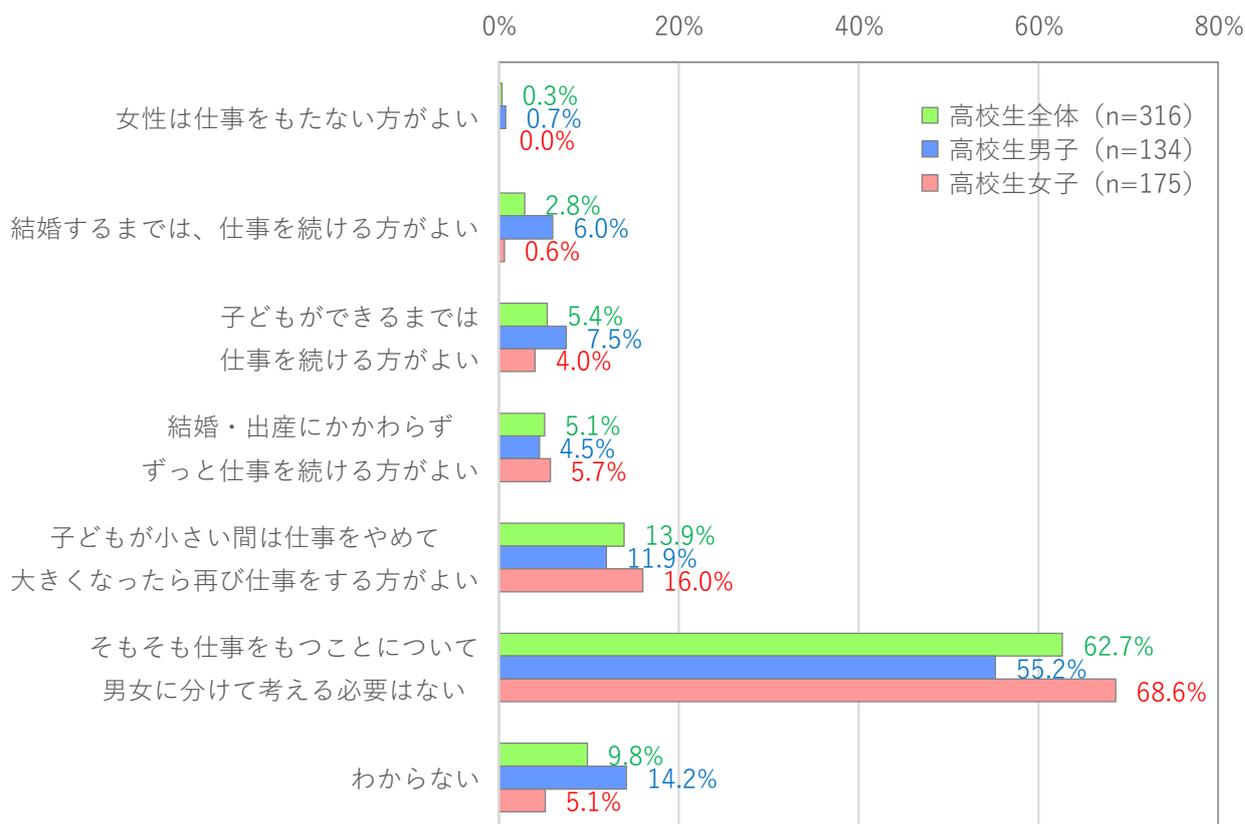
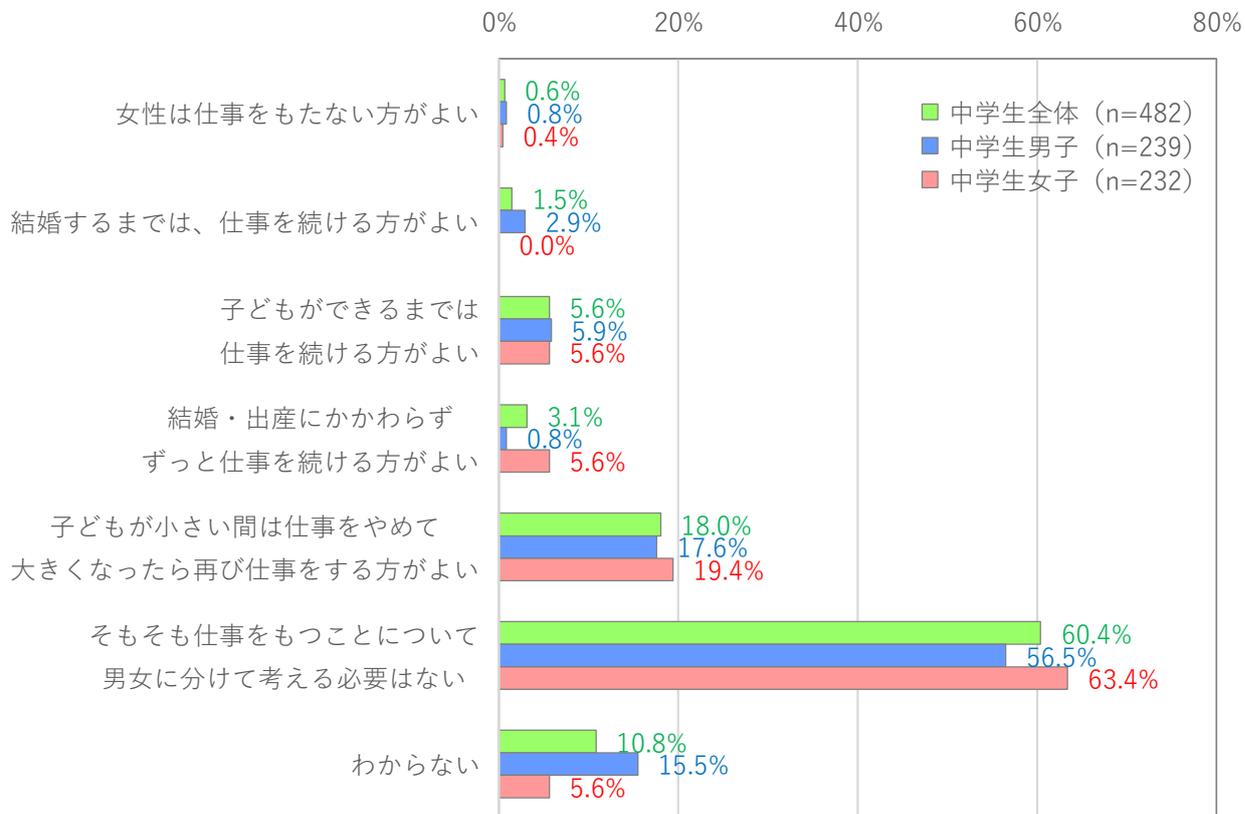
一方、高校生男子は中学生男子と比べて「賛成」の回答率が多く、「反対」の回答率も少なくなっています。



(5) 女性が仕事をもつことについて

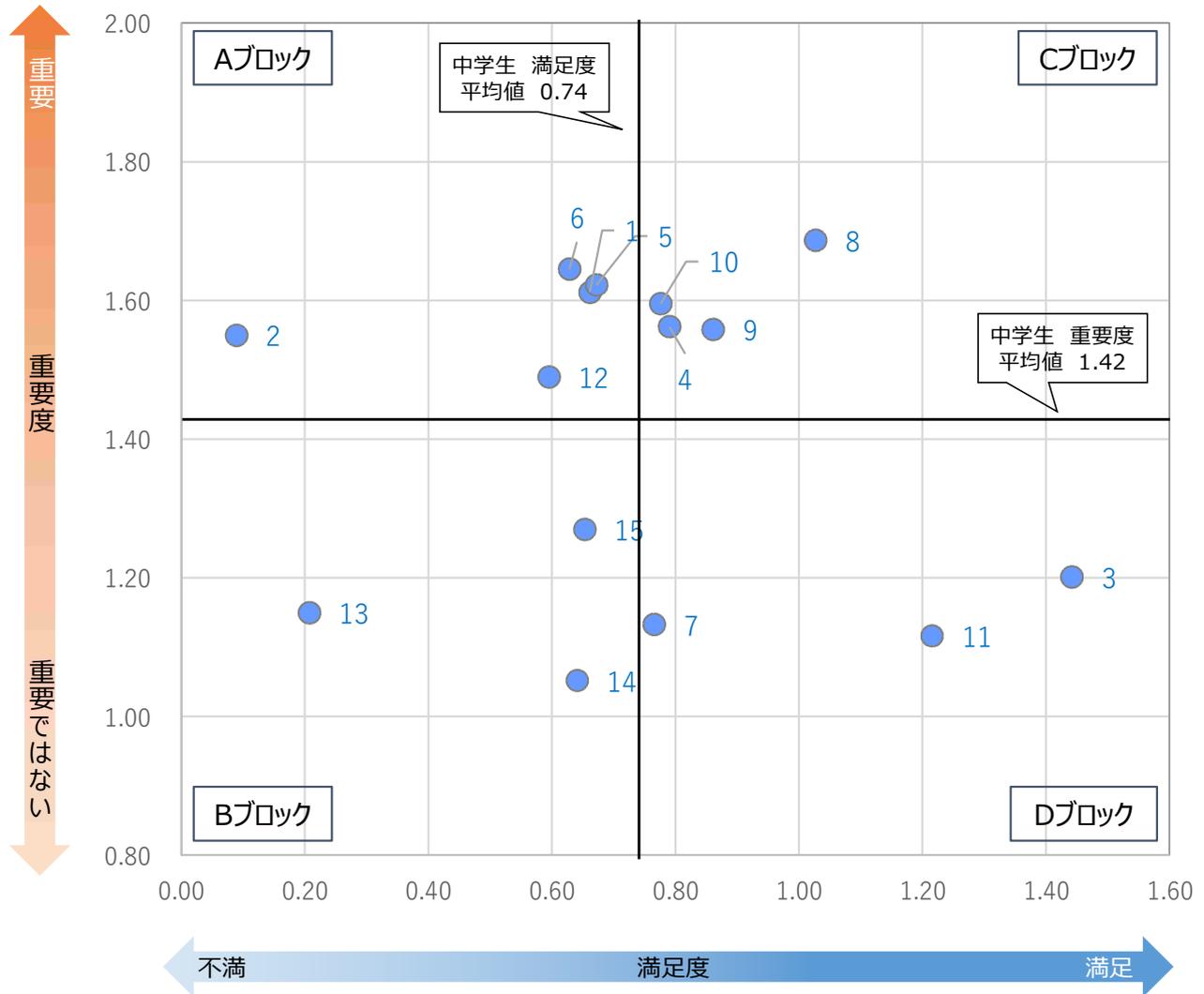
中学生・高校生、男女ともに「そもそも仕事をもつことについて男女に分けて考える必要はない」が最も多くなっています。

中学生・高校生ともに、男子は「結婚するまでは、仕事を続ける方がよい」が女子よりも多くなっています。



資料

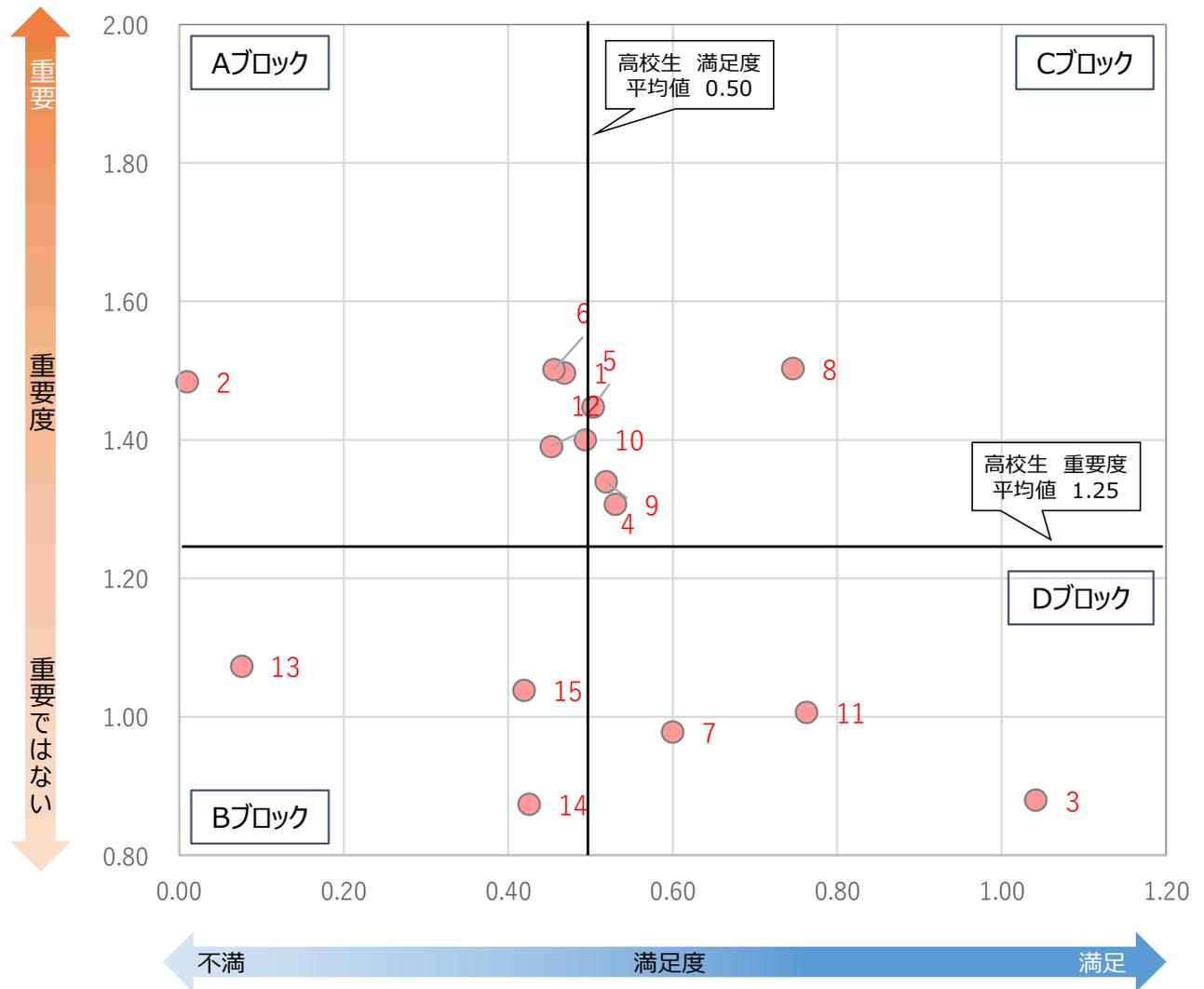
【中学生 満足度・重要度（加重平均値）】



中学生 満足度平均値 0.74	重要度平均値 1.42
-----------------	-------------

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる | 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している |
| 2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している | 10 学校の教育や施設が充実している |
| 3 森林や河川などの自然環境が豊かである | 11 地域の祭など伝統文化が豊かである |
| 4 市街地が整備され、快適に暮らせる | 12 日々の買い物が便利である |
| 5 災害などに備える防災機能が整備されている | 13 観光地やレジャー施設が充実している |
| 6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている | 14 地域のボランティア団体などが充実している |
| 7 身近な公園や広場が整備されている | 15 市からの情報が充実している |
| 8 病院・診療所などの医療サービスが充実している | |

【高校生 満足度・重要度（加重平均値）】



高校生 満足度平均値 0.50	重要度平均値 1.25
-----------------	-------------

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 道路・歩道が整備され、安全に利用できる 2 鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している 3 森林や河川などの自然環境が豊かである 4 市街地が整備され、快適に暮らせる 5 災害などに備える防災機能が整備されている 6 安心して暮らせる防犯体制が整備されている 7 身近な公園や広場が整備されている 8 病院・診療所などの医療サービスが充実している | <ul style="list-style-type: none"> 9 子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している 10 学校の教育や施設が充実している 11 地域の祭など伝統文化が豊かである 12 日々の買い物が便利である 13 観光地やレジャー施設が充実している 14 地域のボランティア団体などが充実している 15 市からの情報が充実している |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

令和6年度 中学生・高校生 意識調査

中学生・高校生 意識調査ご協力をお願い

皆さん、こんにちは。

渋川市は、皆さんが住みやすいまちを目指し、様々な取り組みを行っています。

そこで、将来のまちづくりの主役となる中学生・高校生の皆さんに、まちづくりについての意見や希望を伺い、これからのまちづくりにいかすため、アンケート調査を実施いたします。

なお、この調査の結果は、ホームページ等で公表させていただく予定です。

皆さんが普段考えていることや、渋川市に対する思いなどを率直にお答えください。

ご協力よろしく申し上げます。

令和7年2月

渋川市長 高木 勉

ご記入に当たって

- 1 回答は、次のとおり行ってください。
 - 選択肢の中から、あてはまる番号に○をつけてください。
 - ○の数は、質問ごとに「1つ選んで○」「あてはまるもの全てに○」などの指定に合わせてください。
 - 「その他」を選んだ場合は、()内に具体的な内容を記入してください。
- 2 回答内容は、調査の目的以外に使用することはありません。また、回答内容は統計的に処理しますので、回答いただいた方が特定されることはありません。

【お問合せ先】渋川市 総合戦略部 政策戦略課 政策推進係

電話：0279-25-8554 FAX：0279-24-6541

E-mail：hp-seisaku@city.shibukawa.gunma.jp

あなたご自身のことについてお伺いします。

【1】あなたの性別をお答えください。

1. 男	2. 女	3. 回答しない
------	------	----------

【2】あなたは、中学生ですか、高校生ですか。1つ選んで○をつけてください。

1. 中学生（中学部）	2. 高校生（高等部）
-------------	-------------

【3】あなたのお住まいは、どちらですか。1つ選んで○をつけてください。

1. 渋川地区	5. 赤城地区
2. 伊香保地区	6. 北橘地区
3. 小野上地区	7. その他（市・町・村）
4. 子持地区	

【4】【3】で、1～6を選んだ方にお伺いします。あなたは、渋川市に住んで何年になりますか。1つ選んで○をつけてください。なお、転居されたことのある方は、通算の年数でお答えください。

1. 3年未満	3. 5年以上10年未満
2. 3年以上5年未満	4. 10年以上

【5】あなたは、将来渋川市に住みたいと思いますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 渋川市内に住み続けたい	3. 渋川市外に移りたい
2. 一度、渋川市外で暮らすかもしれないが、将来は戻ってきたい	4. わからない

【6】【3】で、「7.その他」を選んだ方にお伺いします。あなたは、将来渋川市に移り住みたいと思いますか。1つ選んで○をつけてください。

1. 渋川市内に移り住みたい	3. わからない
2. 渋川市内に移り住みたくない	

市の現状の評価についてお伺いします。

【問1】 あなたは、身近な生活環境について、どのように感じていますか。次の1～15の各項目について、「満足度」・「重要度」の5段階評価の中から、1つずつ選んで○をつけてください。

項目	主な取り組み	満足度					重要度				
		満足	どちらかといえば満足	いえない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	いえない	どちらかといえば重要でない	重要でない
(例)	道路・歩道が整備され、安全に利用できる	⑤	4	3	2	1	5	④	3	2	1
1	道路・歩道が整備され、安全に利用できる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2	鉄道・バスなどの公共交通機関が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3	森林や河川などの自然環境が豊かである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4	市街地が整備され、快適に暮らせる	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5	災害などに備える防災機能が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6	安心して暮らせる防犯体制が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7	身近な公園や広場が整備されている	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8	病院などの医療サービスが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9	子育て世帯・障害者・高齢者などへの福祉サービスが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10	学校の教育や施設が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11	地域の祭りなど伝統文化が豊かである	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12	日々の買い物が便利である	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13	観光地やレジャー施設が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14	地域のボランティア団体などが充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15	市からの情報が充実している	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

将来のなりたい職業などについてお伺いします。

【問2】あなたが将来、働きたい場所やなりたい職業は何ですか。

次のうちから3つまで選んで○をつけてください。

(当てはまるものがない場合は、「その他」を選んでください。)

1. 農家、畜産、森の育成・木の伐採など	11. 旅館・ホテル、カフェ・レストランなど
2. 道路工事、大工、ビル建築など	12. 理容・美容師、エステ・ネイルサロン、スタイリストなど
3. 食品・飲料製造など	13. 学校・幼稚園・保育園の先生、学習塾講師など
4. 自動車・その他機械製造など	14. 医師・歯科医師・獣医、看護師、薬剤師、介護士など
5. 電力・ガス供給、電気・ガス・水道工事など	15. レジャー施設、テーマパークなど
6. IT 関連・プログラマー、テレビ・映像制作、新聞社・出版社など	16. 芸能人、配信者、漫画家、芸術家・ミュージシャンなど
7. 飛行機・鉄道・バス・タクシー乗務員、トラック運送など	17. 市役所職員、警察・消防・自衛官など
8. スーパー、ホームセンター、その他ショップスタッフなど	18. まだ決まっていない
9. 銀行、生命保険会社など	19. その他 ()
10. 科学者、研究者など	

社会的な男女の意識についてお伺いします。

【問3】あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。
1つ選んで○をつけてください。

1. 賛成	3. どちらかといえば反対
2. どちらかといえば賛成	4. 反対
	5. わからない

【問4】一般的に女性が仕事をもつことについて、どう思いますか。
1つ選んで○をつけてください。

1. 女性は仕事をもたない方がよい	5. 子どもが小さい間は仕事をやめて、大きくなったら再び仕事をする方がよい
2. 結婚するまでは、仕事を続ける方がよい	6. そもそも仕事をもつことについて、男女に分けて考える必要はない
3. 子どもができるまでは、仕事を続ける方がよい	7. わからない
4. 結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事を続ける方がよい	

選挙についてお伺いします。

【問5】あなたは、選挙（制度、投票、実際の選挙）に関して、今までにどのようなことに関わったことがありますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

1. 学校の授業で選挙制度について習ったことがある	5. 自分から選挙や立候補者の情報を見たり聞いたりしたことがある
2. 選挙に関する講座や模擬選挙を体験したことがある	6. 関わったことはない
3. 家族と一緒に投票所に行ったことがある	7. その他（ ）
4. 家族や友達と選挙について話したことがある	

【問6】あなたは、18歳になったら選挙で投票に行こうと思いますか。

1つ選んで○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. わからない
-------	--------	----------

【問7】【問6】で、「2. いいえ」を選んだ人にお伺いします。

あなたが投票に行かないと思っている主な理由は何ですか。

1つ選んで○をつけてください。

1. 投票の方法が難しそうだから	4. 投票しても意味がなさそうだから
2. 誰に投票していいか分からなそうだから	5. 今のままでも困ることはなさそうだから
3. 投票に行くのが面倒そうだから	6. その他 ()

インターネットや SNS についてお伺いします。

【問8】インターネットを有効かつ安全安心に利用するために、あなたがしていることがありますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。

1. 自分や保護者で、使い方のルールをつくっている	5. ネット上で、悪口やうそは書かないようにしている
2. 利用時間の制限（アプリ活用など）をして、時間管理をしている	6. ネットを利用して不安を感じた時に、保護者など大人に相談している
3. （保護者などが）フィルタリング設定をして、安全な利用環境を整えている	7. その他 ()
4. ネット上に、個人情報や他人の写真などを掲載しないようにしている	

まちの景色や、にぎわいづくりについてお伺いします。

【問12】 渋川市らしい景色を残すために、どのようなことが大切だと思いますか。
当てはまるもの全てに○をつけてください。

1. 山や川などの自然景観を現在のままで保存する	6. 農地や山並みと調和した住宅地、集落の景観を保全または整備する
2. 主要な道路沿いの整備や沿道の看板などの規制	7. 渋川駅周辺などのまちなかにでにぎわいのある市街地を整備する
3. 公共空間の緑化を進める	8. 伊香保温泉など観光拠点の景観整備を進める
4. 白井宿など歴史的・文化的な景観を保全する	9. 特に優れた景色を見ることができる場所の空間整備を行う
5. 空き地や空き家などを管理しながら街並み景観を保全または整備する	10. その他（ ）

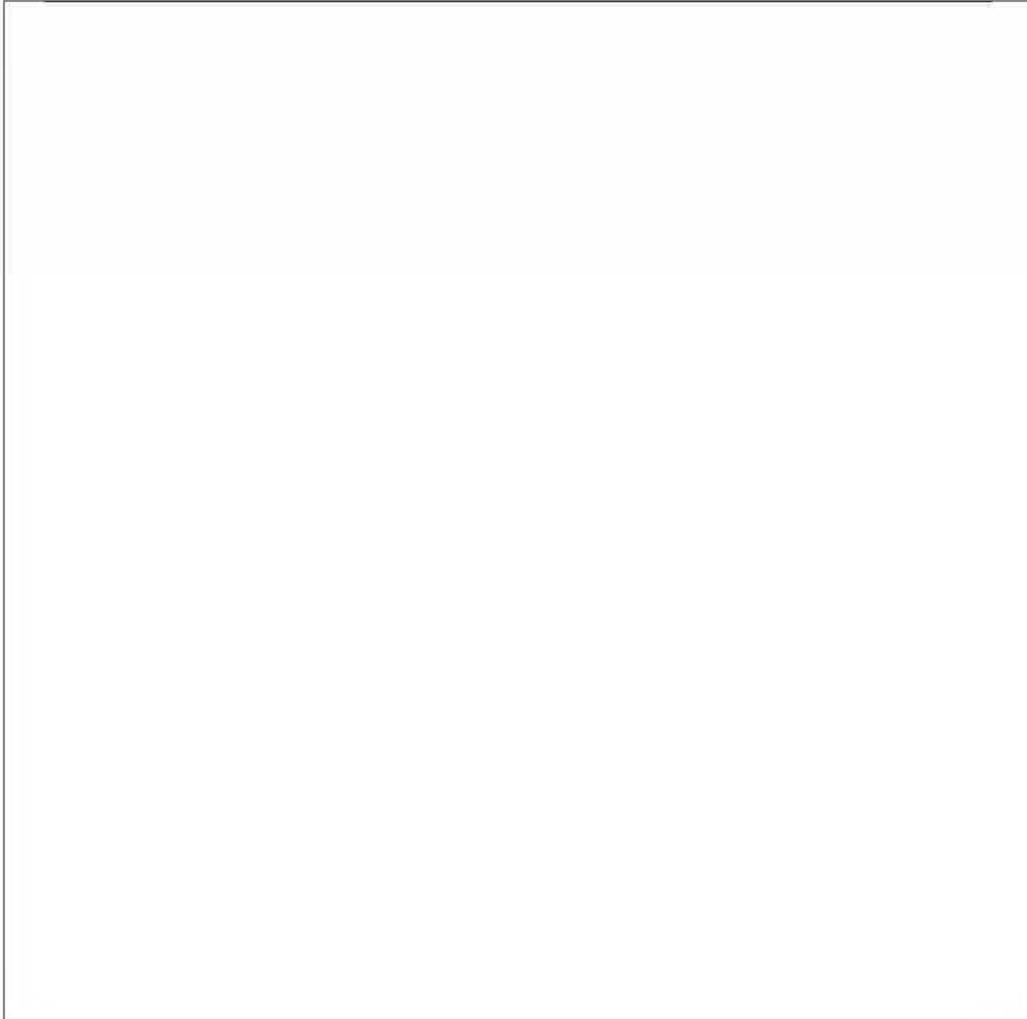
普段の読書習慣についてお伺いします。

【問13】 あなたは、紙の本、電子書籍のそれぞれについて、1カ月の間にどのくらい本を読みますか。それぞれ当てはまる冊数の口に「✓」をつけてください。
(教科書・学習参考書は除いてお答えください)

項目	0冊	1～3冊	4～6冊	7～9冊	10冊以上
紙の本 ※マンガ・雑誌は除きます (図書館や友人から借りて読む本も含みます)	<input type="checkbox"/>				
電子書籍 ※マンガ・雑誌も含みます (電子図書館で借りる本を含みます)	<input type="checkbox"/>				

市政について伺います。

【問14】あなたが渋川市の市長になったら、市民が住みやすいまちをつくるために、どのようなことに力を入れたいですか。（ご自由にお書きください。）



ご協力ありがとうございました。